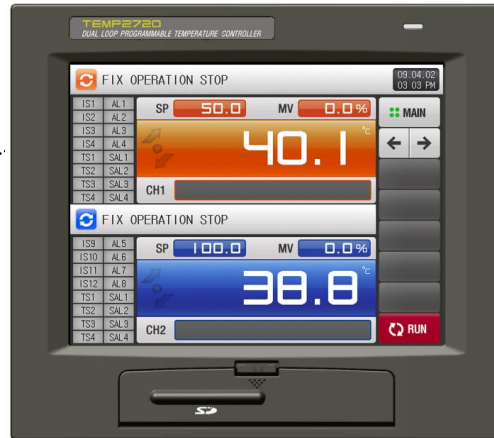


TEMP2020 - SERIES

TEMP2720



TEMP2520



通信説明書

※ 本マニュアルは、TEMP2520, TEMP2720の共通マニュアルで使用しており、内部の表示 TEMP2520になっています。

目 次

1. 安全性に関する指示（注意）事項	1
2. 通信仕様	3
3. 通信の設定	4
4. 通信配線	5
5. 通信コマンド	7
6. MODBUS プロトコル	18
7. D-REGISTER 説明	25
▪ D-REGISTER 表	58

1. 安全に関する指示(注意)事項

当社のデジタルレコーダ(TEMP2520)をご購入していただき、まことにありがとうございます。本使用者説明書は本製品の設置および使用方法に関して記述します。



安全に関するシンボルマーク (SYMBOL MARK)

(A) “取扱注意”または“注意事項”を表示します。この事項を違反する時に、死亡や重症および機器の深刻な損傷の恐れがあります。



- (1) 製品：人体および機器を守るために必ず熟知するべき事項がある場合に表示されます。
- (2) 使用者説明書：感電などによる使用者の生命びに身体に危険の恐れがある場合これを防ぐための注意事項を記述しています。

(B) “接地端子”を表示します。



製品設置および操作時に、必ず地面に接地してください。

(C) “補充説明”を表示します。



説明を補充するための内容を記述しています。

(D) “参照事項”を表示します。



参照する内容と参照ページ(PAGE)に関して記述しています。



本使用者説明書に関する注意事項

- (A) 本使用者説明書は最終使用者(USER)が常に所持するように伝達してください。また、いつでも見られる場所に保管してください。
- (B) 本製品は操作説明書を十分熟知した上、ご使用ください。
- (C) 本使用者説明書は製品に関する詳細機能を詳しく説明したもので、使用者説明書以外の事項に対しては保証しておりません。
- (D) 本使用者説明書の一部または全部を無断で編集・コピーして使用できません。
- (E) 本使用者説明書の内容は事前通報、または予告なく任意で変更される場合があります。
- (F) 本使用者説明書は万全を期して作成されましたが、内容上、誤記、漏れなどがある場合にはご購入先(代理店など)または当社営業部にご連絡ください。



本製品の安全および改造(変更)に関する注意事項

- (A) 本製品および本製品に繋いで使用するシステムの保護および安全のため、本操作説明書の安全に関する注意(指示)事項を熟知した上、本製品をご使用ください。
- (B) 本操作説明書の指示に従わない使用あるいは取扱された場合、並びに不注意などによって発生されたすべての損失に対して当社は責任を負いません。
- (C) 本製品および本製品に繋いで使用するシステムの保護および安全のため、別途の保護または完全回路などを設置する場合には必ず本製品の外部に設置してください。
本製品の内部に改造(変更)または追加することは禁じられています。
- (D) 任意で分解、修理、改造しないでください。感電、火災および誤動作の原因になります。
- (E) 本製品の部品および消耗品を交換する場合には必ず当社営業部にご連絡ください。
- (F) 本製品に水分が流入されないようにしてください。故障の原因になります。
- (G) 本製品に強い衝撃を与えないでください。製品損傷および誤動作の原因になります。



本製品の免責に関して

- (A) 当社の品質保証条件が定めた内容以外には、本製品に対して如何なる保証および責任を負いません。
- (B) 本製品の使用において、当社の予測不可能な欠陥および天災によって使用者あるいは第三者が直接および間接的被害を受ける場合、当社は責任を持ちません。



本製品の品質保証条件に関して

- (A) 製品の保障期間は本製品を購入した日から1年間にして、本操作説明書が定めた正常的使用状態で発生した故障の場合に限って無償修理いたします。
- (B) 製品の保障期間以降に発生した故障などによる修理は当社が定めた基準によって実費(有償)処理いたします。
- (C) 次のような場合、保証修理期間内に発生した故障であっても、実費処理いたします。
 - (1) 使用者の過ちや間違いによる故障 (例 : パスワード紛失による初期化など)
 - (2) 天災による故障 (例 : 火災、水害など)
 - (3) 製品設置後の移動などによる故障
 - (4) 任意で製品の分解、変更および損傷などによる故障
 - (5) 電源不安定などの電源異常による故障
 - (6) その他
- (D) 故障などによって A/Sが必要な場合にはご購入先または当社の営業部にご連絡ください。

2. 通信の仕様

TEMP2520の通信は、RS485による半二重 (Half-Duplex) 方式の2線式で行われ、PCなどの上位コンピュータとの通信は、準備されたプロトコル (Protocol) を使用して、最大30台まで接続することができます。

■ 通信設定関連のパラメータ

パラメータ (PARAMETER)	設定範囲	内 容
プロトコル (PROTOCOL)	PCLINK	基本プロトコル
	PCLINK+SUM	基本プロトコル+Checksum
	MODBUS ASC	MODBUS ASCII
	MODBUS RTU	MODBUS RTU
通信速度 (BAUD RATE)	9600	9600 bps
	19200	19200 bps
	38400	38400 bps
	57600	57600 bps
	115200	115200 bps
パリティ (PARITY)	NONE	None Parity(パリティ なし)
	EVEN	Even Parity(偶数 パリティ)
	ODD	Odd Parity(奇数 パリティ)
ストップビット (STOP BIT)	1	1 bit
	2	2 bits
データ長さ (DATA LENGTH)	7	7 bits
	8	8 bits
アドレス (ADDRESS)	1~99	通信アドレス (Address)
応答時間 (RESPONSE TIME)	0~10	応答時間 (= 処理時間+RESPONSE TIME*10msec)
SYNC運転 マスター (SYNC MASTER)	未使用	使用しない
	CH1	CH1をマスタとして使用する
	CH2	CH2をマスタとして使用する

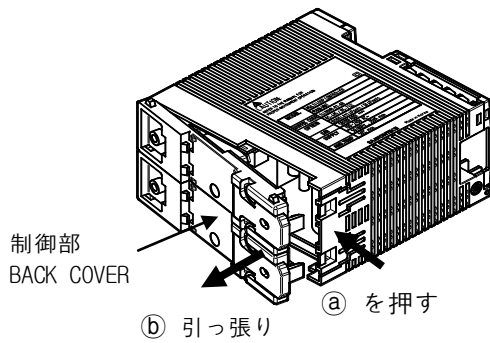
■ 工場出荷時の通信関連のパラメータのデフォルト値

• プロトコ (PROTOCOL)	PCLINK+SUM(PCLINK+Checksum)
• 通信速度 (BPS)	9600 bps
• パリティ (PARITY)	NONE
• ストップビット (STOP BIT)	1 (1 bit)
• データ長さ (DATA LENGTH)	8 (8 bits)
• アドレス (ADDRESS)	1
• 応答時間 (RESPONSE TIME)	0 (処理時間 +10msec)
• SYNC運転 マスター	未使用

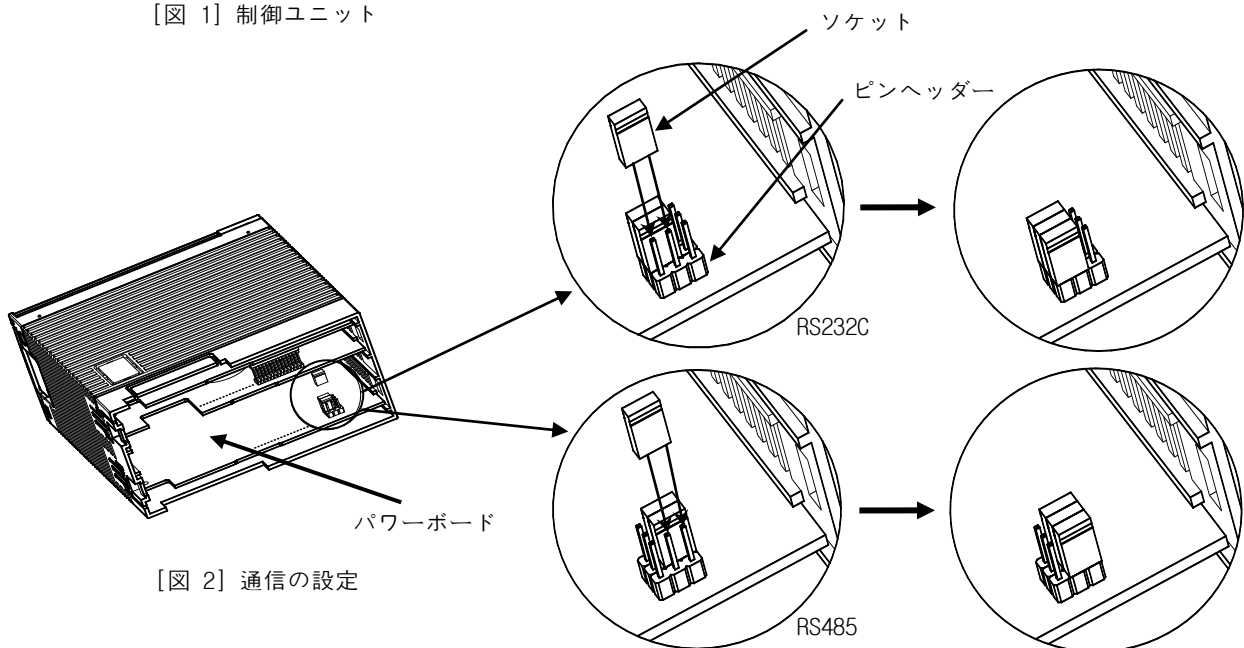
3. 通信配線

TEMP2520はRS232CまたはRS485通信インターフェイスを選択的に適用することができます。

- ▶ [図1]でBACK COVERを分離して、パワーボードの通信を確立することができるRS232CまたはRS485ピンヘッドのいずれかを選択して設定します。
- ▶ 通信設定時ピンセット（他の機関品等）を使用してソケットを必要な通信ピンヘッドに挿入します。
- ☞ ピンヘッドにソケットに挿入完了後には必ずご確認ください。



[図 1] 制御ユニット



[図 2] 通信の設定

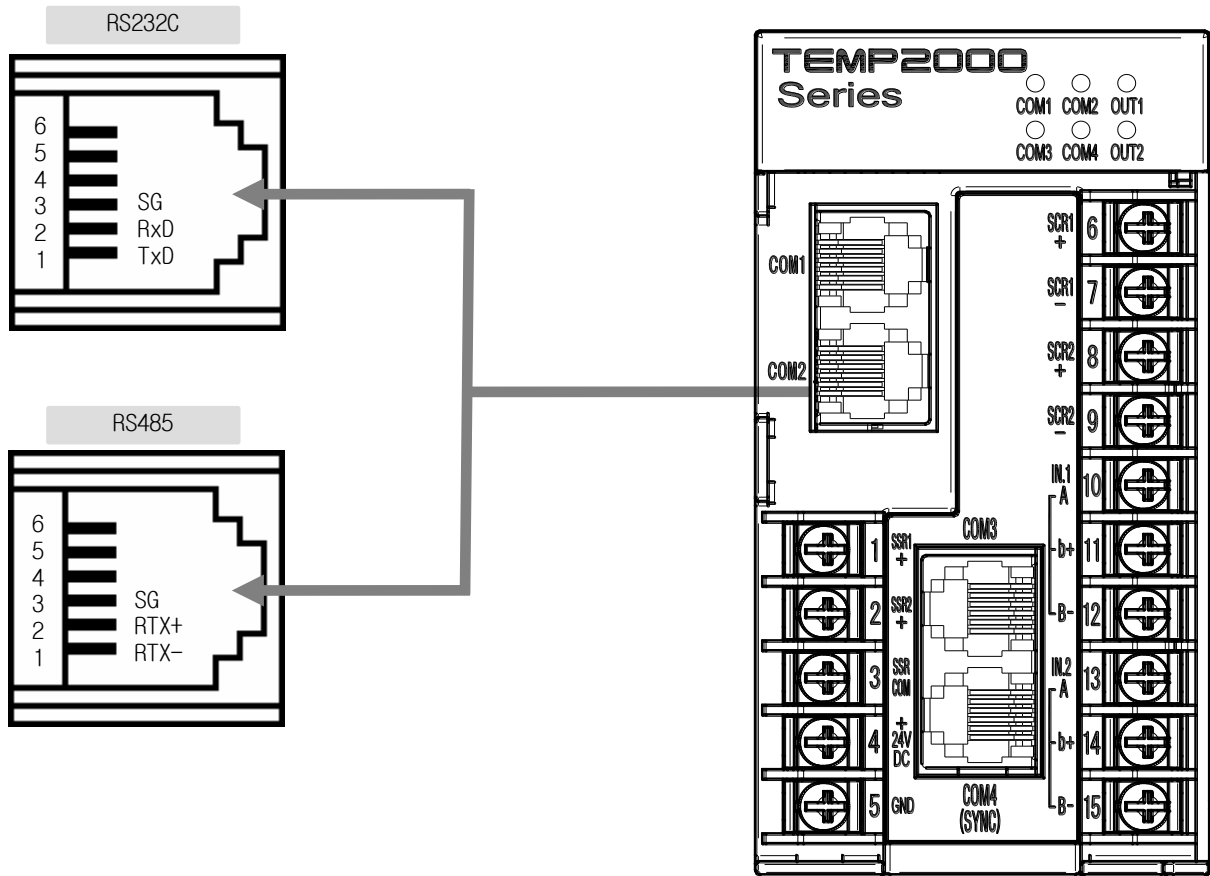


- ▶ 通信設定時に、ケースからボードを取り外さないでください。
- ▶ 通信設定時ピンセット（他の機関品等）を使用して設定してください。
- ▶ 通信設定が完了した後の通信設定が合わせていることを確認してください。

4. 通信配線

TEMP2520と上位通信装置間の配線は、TEMP2520の通信設定（RS232C/RS485）によって異なりますが、その内容は次のとおりです。

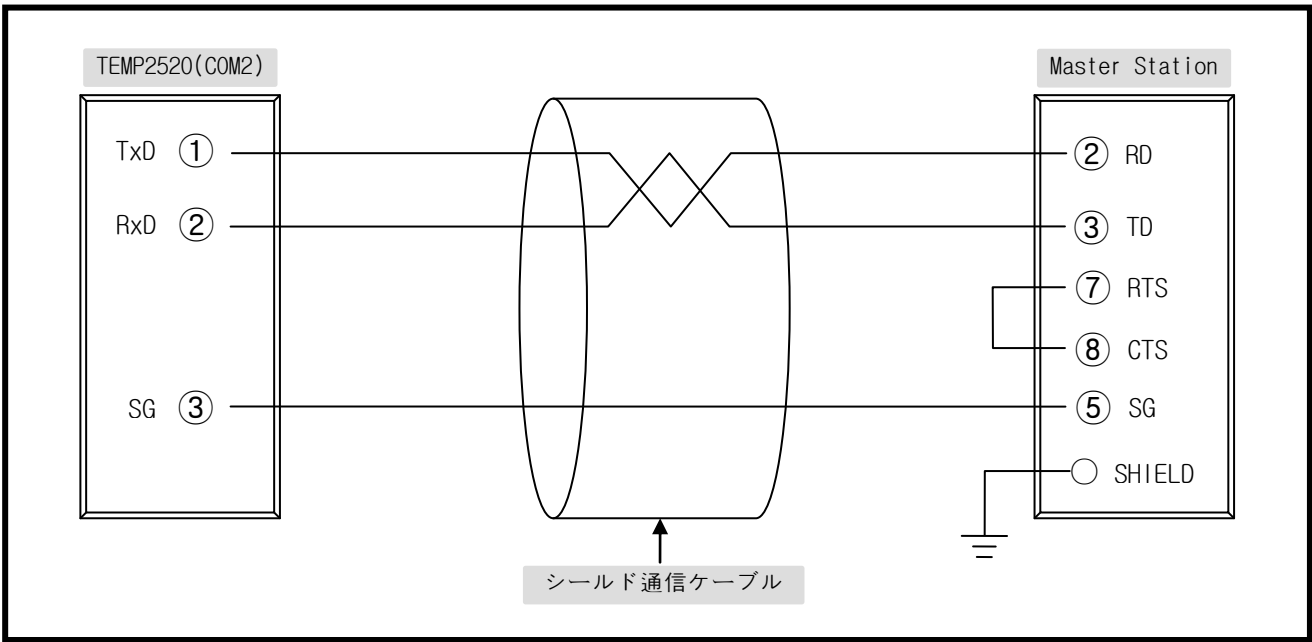
COM2ポートのモジュラーコネクタのピン割り当て



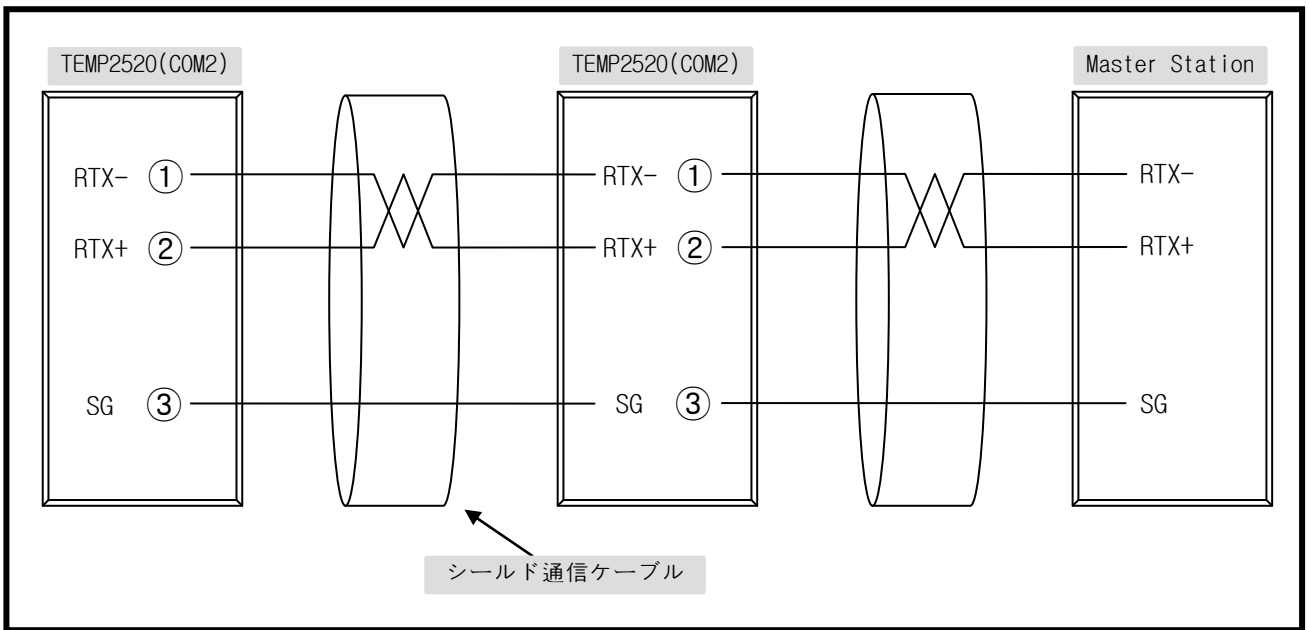
COM2ポートのモジュラーコネクタのピン説明

ピン番号	RS232C		RS485	
	信号名	記号	信号名	記号
1	送信データ	TxD	送信/受信データ -	RTX-
2	受信データ	RxD	送信/受信データ +	RTX+
3	シグナルグラウンド	SG	シグナルグラウンド	SG
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-

■ RS232C通信のTEMP2520 6 Pinコネクタの接続



■ RS485通信のTEMP2520 6 Pinコネクタの接続



☞ SLAVE側 (TEMP2520) は、最大31台までマルチドロップ (Multidrop) 接続が可能です。

☞ 通信路の両端にあるTEMP2520またはMASTER側 (PC、PLCなど) には、必ず終端抵抗 (200Ω 1/4W) を接続してください。

5. 通信コマンド

5.1 通信コマンドの構成

上位通信装置からTEMP2520に送信する通信コマンドの基本的な形は次のようです。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
STX	TEMP2520の アドレス	コマンド	,	コマンドの規則に 基づくデータ	SUM	CR	LF

① 通信コマンドの開始文字

Ascii文字STX (Start of Text) でコード値0x02を持つもので、通信コマンドの開始を表示する

② TEMP2520のアドレス

通信をしようとするTEMP2520の機器の番号のユニットアドレスを表示する。

③ コマンド

通信のためのコマンド(5.2 ~ 5.10 節を参照)。

④ 区切り文字

カンマ(',')でコマンドとデータを分離する区切り文字を表示する。

⑤ データ 部

通信コマンドの規則に基いだ一定の形式の文字列を表示する。

⑥ SUM

STX、以下の文字で、SUM、それまでの各文字をASCIIコードに加えて、サブ1- byte (8- bit) をASCIIコード2桁(16進数)に変換したものです。

⑦/⑧ 終端文字

通信コマンドの終わりを示すASCIIコードにCR (0x0D) 、LF (0x0A) で表示。

■ SUM 例

◆ 例

CH1.NPV (D0001) からCH2.MVOUT (D0006) までのD- Registerを読む場合は、

- 送信 : [stx]01RSD,06,0001[cr][lf]
- 送信 (Checksum 含む) : [stx]01RSD,06,0001**C9**[cr][lf]

☞ 以下のように 01RSD,06,0001の個々の文字をASCIIコードに加えて、16進数の値は2C9であり、その中で、下位2桁のC9をChecksumに使用します。

文字	0	1	R	S	D	,	0	6	,	0	0	0	1
Ascii 値	30	31	52	53	44	2C	30	36	2C	30	30	30	31



■ ASCII コード表

縦 \ 横	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SPACE	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

5.2 通信コマンドの種類

TEMP2520の通信コマンドには、TEMP2520の情報を読み取る 自己情報コマンドと TEMP2520の様々な情報を読んだり書くことができるの読み取り (Read) /書き込み (Write) コマンドがあります。

■ 自己情報のコマンド

コマンド	内容
AMI	TEMP2520のモデル名、およびVersion- Revision表示

■ 読み取り (Read) /書き込み (Write) コマンド

コマンド	内容
RSD	D-Registerの 連続読み取り
RRD	D-Registerの Random 読む
WSD	D-Registerの 連続書き込み
WRD	D-Registerの Random 書き
STD	D-Registerの Monitoring Set
CLD	D-Registerの Monitoring Call

☞ 各コマンドは、64個のD- Registerを読み書きすることができ、STD/ CLDの場合は、電源OFF時に登録した内容が初期化されるため、電源がONになると再登録しなければなりません。

5.3 エラーコード

通信中にErrorが発生した場合は、TEMP2520で次のように送信します。

byte 数字	1	2	2	2	2	1	1
内容	STX	TEMP2520の住所	NG	エラーコード	SUM	CR	LF

■ エラーコード

エラーコード	内容	備考
01	存在しないコマンドを指定するとき	
02	存在しない D-Register を指定するとき	
04	データの設定 Error	有効なデータ以外の文字を使用する (データは、0~9、A~Fの16進数の数字のみを使用)
08	不適切なFormatの設定時	指定されたコマンドおよびFormatの相違 指定された個数と設定された個数が異なる
11	Checksum Error	
12	Monitoring コマンド Error	指定されたMonitoringコマンドがない
00	その他Error 発生時	

5.4 RSD コマンド

D- Register上の一連のデータを読もうとするときに使用するコマンドです。

■ 送信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1	4	2	1	1
内 容	STX	TEMP2520の 住所	RSD	,	個数	,	D-Reg.	SUM	CR	LF

■ 受信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1	4	1	...
内 容	STX	TEMP2520の 住所	RSD	,	OK	,	Data - 1	,	...

1	4	2	1	1
,	Data - n	SUM	CR	LF

- 個数：1～64
- DATA：16進数の小数点のないデータ

◆ 例

CH1.NPV (D0001) でCH2.NPV (D0002) までのD- Registerを読む場合は、

- 送信 : [stx]01RSD,02,0001[cr][lf]
 - 送信 (Checksum を含む) : [stx]01RSD,02,0001C5[cr][lf]
- ([stx] = 0x02, [cr] = 0x0d, [lf] = 0x0a)

受信CH1.NPV (D0001) の値が50.0であり、CH2.NPV (D0002) の値が30.0の場合

- 受信 : [stx]01RSD,OK,01F4,012C[cr][lf]
- 受信 (Checksum を含む) : [stx]01RSD,OK,01F4,012C19[cr][lf]

※ 受信した16進数データの PVの値を画面に表示するために変換するプロセス

- ① 10進数に変換 : 01F4 (16進数) 500 (10進数)
- ② 変換した値に0.1を増加する。 : 500*0.1 50.0

5.5 RRD コマンド

D- Register上Randomしたデータを読もうとするときに使用するコマンドです。

■ 送信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1	4	1	...
内 容	STX	TEMP2520の 住所	RRD	,	個数	,	D-Reg.- 1	,	...

1	4	2	1	1
,	D-Reg.- n	SUM	CR	LF

■ 受信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1	4	1	...
内 容	STX	TEMP2520の 住所	RRD	,	OK	,	Data - 1	,	...

1	4	2	1	1
,	Data - n	SUM	CR	LF

- 個数：1～64
- DATA：16進数の小数点のないデータ

◆ 例

CH1.NPV(D0001) と CH1.NSP(D0003) のD- Registerを読む場合は、

- 送信 : [stx]01RRD,02,0001,0003[cr][lf]
- 送信 (Checksum 含む) : [stx]01RRD,02,0001,0003B3[cr][lf]

受信 CH1 PV(D0001) の値が 50.0であり、 CH1 SP(D0003) の値が 30.0 の場合

- 受信 : [stx]01RRD,0K,01F4,012C[cr][lf]
- 受信 (Checksum 含む) : [stx]01RRD,0K,01F4,012C18[cr][lf]

5.6 WSD コマンド

D- Register上イルリョンハンデータを書き込むときに使用するコマンドです。

■ 送信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1	4	1	4
内 容	STX	TEMP2520の 住所	WSD	,	個数	,	D-Reg.	,	Data - 1

1	...	1	4	2	1	1
,	...	,	Data - n	SUM	CR	LF

■ 受信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	2	1	1
内 容	STX	TEMP2520の 住所	WSD	,	OK	SUM	CR	LF

- 個数：1 ~ 64
- DATA：16進数の小数点のないデータ



定値運転時のCH1.TSP (D0104) とCH2.TSP (D0105) にデータを書き込む場合は、

- CH1.TSP設定：50.0℃→小数点を削除 (500) →16進数 (0x01F4)
- CH2.TSP設定：80.0℃→小数点を削除 (800) →16進数 (0x0320)
- 送信 : [stx]01WSD,02,0104,01F4,0320[cr][lf]
- 送信 (Checksum 含む) : [stx]01WSD,02,0104,01F4,0320C6[cr][lf]

5.7 WRD コマンド

D- Register上Randomしたデータを書き込むときに使用するコマンドです。

■ 送信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1	4	1	4
内容	STX	TEMP2520の 住所	WRD	,	個数	,	D-Reg.- 1	,	Data - 1

1	...	1	4	1	4	2	1	1
,	...	,	D-Reg. - n	,	Data - n	SUM	CR	LF

■ 受信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	2	1	1
内容	STX	TEMP2520の 住所	WRD	,	OK	SUM	CR	LF

- 個数: 1 ~ 64
- Data : 16 進数の小数点のないデータ

◆ 例

定値運転時のCH1.TSP (D0104) とCH1.SLOPE (D0110) にデータを書き込む場合。

- CH1.TSP 設定 : 50.0 °C → 小数点を削除 (500) → 16進数 (0x01F4)
- CH1.SLOPE 設定 : 0.5 °C → 小数点を削除 (5) → 16進数 (0x0005)
- 送信 : [stx]01WRD,02,0104,01F4,0110,0005[cr][lf]
- 送信 (Checksum を含む) : [stx]01WRD,02,0104,01F4,0110,0005B3[cr][lf]

5.8 STD コマンド

TEMP2520にあらかじめ必要なD-Registerを登録させるコマンドです。

■ 送信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1	4	1	4
内 容	STX	TEMP2520の 住所	STD	,	個数	,	D-Reg. - 1	,	D-Reg. - 2

1	...	1	4	1	4	2	1	1
,	...	,	D-Reg. - (n-1)	,	D-Reg. - n	SUM	CR	LF

■ 受信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	2	1	1
内 容	STX	TEMP2520の 住所	STD	,	OK	SUM	CR	LF

- 個数：1～64

◆ 例

CH1.NPV(D0001), CH2.NPV(D0002), CH1.MVOUT(D0005), CH2.MVOUT (D0006) を登録する場合。

- 送信 : [stx]01STD,04,0001,0002,0005,0006[cr][lf]
- 送信 (Checksum を含む) : [stx]01STD,04,0001,0002,0005,00069A[cr][lf]

5.9 CLD コマンド

TEMP2520にSTDコマンドであらかじめ登録したD-Registerを読み出すコマンドです。

■ 送信フォーマット

byte 数	1	2	3	2	1	1
内容	STX	TEMP2520の 住所	CLD	SUM	CR	LF

■ 受信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1	4	1	4
内容	STX	TEMP2520の 住所	CLD	,	OK	,	Data - 1	,	Data - 2

1	...	1	4	1	4	2	1	1
,	...	,	Data - (n-1)	,	Data - n	SUM	CR	LF

- Data : 16進数の小数点のないデータ

◆ 例

- 送信 : [stx]01CLD[cr][lf]
- 送信 (Checksum を含む) : [stx]01CLD34[cr][lf]

5.10 AMI コマンド

TEMP2520の情報を確認するときに使用するコマンドです。

■ 送信フォーマット

byte 数	1	2	3	2	1	1
内 容	STX	TEMP2520の 住所	AMI	SUM	CR	LF

■ 受信フォーマット

byte 数	1	2	3	1	2	1
内 容	STX	TEMP2520の 住所	AMI	,	OK	,

9	2	7	2	1	1
모델명	SPACE	Version-Revision	SUM	CR	LF

◆ 例

TEMP2520の情報を確認する場合

- 送信 : [STX]01AMI[CR][LF]
- 送信 (Checksum を含む) : [STX]01AMI38[CR][LF]

- 送信 : [STX]01AMI,OK,TEMP-2020[sp][sp]V00-R00[CR][LF]
- 送信 (Checksum を含む) : [stx]01AMI,OK,TEMP-2020[sp][sp]V00-R0026[cr][lf]

6. MODBUS プロトコル

6.1 通信コマンドの構成

■ データフォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信の終端文字	[CR][LF]	なし
データ 長さ	7-bit(固定)	8-bit(固定)
データ型	ASCII	Binary
エラー検出	LRC (Longitudinal Redundancy Check)	CRC-16 (Cyclic Redundancy Check)
データの時間間隔	1秒以下	24-bit時間以下

■ フレームの構成

▶ Modbus ASCII

先頭文字	通信アドレス	機能コード	データ	LRC Check	終端文字
1文字	2文字	2文字	N文字	2文字	2文字 (CR+LF)

▶ Modbus RTU

先頭文字	通信アドレス	機能コード	データ	CRC Check	終端文字
なし	8-bit	8-bit	N * 8-bit	16-bit	なし

- N : 16 進数データの数

6.2 通信機能コード

Modbus 通信機能のコードは、D- Registerの内容を読み取り (Read) /書き込み (Write) することができる機能コードとループバック (Loop- Back) 検出機能のコードで構成されています。

機能コード	内 容
03	D-Registerの連続読み取り
06	シングル D-Register の書き込み
08	Diagnostics(Loop-Back Test)
16	D-Register 連続書き込み



MODBUSプロトコルを使用する場合、D - Registerは、0から使用されるので、D- Registerテーブルで定義された番号から1を引いた数を適用する必要があります。

6.3 機能コード- 03

機能コード-03は、連続するD- Registerの内容を最大64個まで読み取ることができます。

■ 送信フォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信アドレス	2 文字	8-bit
機能コード - 03	2 文字	8-bit
D-Register Hi	2 文字	8-bit
D-Register Lo	2 文字	8-bit
読む数 Hi	2 文字	8-bit
読む数 Lo	2 文字	8-bit
エラー検出	2 文字	16-bit
通信の終端文字	2 文字 (CR+LF)	なし

◆ 例

CH1.NPV(D0001) から CH2.NPV(D0002) までの D-Registerを読む場合は、

- MODBUS ASCII :010300000002FA[cr][lf]
- MODBUS RTU 010300000002C40B

☞ D-Register テーブルで定義された番号から1を引いた数を適用します。

■ 受信フォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信アドレス	2 文字	8-bit
機能コード - 03	2 文字	8-bit
データ byte 数	2 文字	8-bit
データ - 1 Hi	2 文字	8-bit
データ - 1 Lo	2 文字	8-bit
...
データ - n Hi	2 文字	8-bit
データ - n Lo	2 文字	8-bit
エラー検出	2 文字	16-bit
通信の終端文字	2 文字 (CR+LF)	なし

◆ 例

受信CH1.NPV (D0001) の値が49.3であり、CH2.NPV (D0002) の値が10.8の場合

- MODBUS ASCII :01030401ED006C9E[cr][lf]
- MODBUS RTU 01030401ED006C6BD7

6.4 機能コード- 06

機能コード-06は、単一のD- Registerの内容を書き込むことができます。

■ 送信フォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信アドレス	2 文字	8-bit
機能コード - 06	2 文字	8-bit
D-Register Hi	2 文字	8-bit
D-Register Lo	2 文字	8-bit
書き込みデータ Hi	2 文字	8-bit
書き込みデータ Lo	2 文字	8-bit
エラー検出	2 文字	16-bit
通信の終端文字	2 文字 (CR+LF)	なし

◆ 例

運転するCH1のパターン番号 (D0100) に'2'を設定する場合

- MODBUS ASCII :01060063000294[cr][lf]
- MODBUS RTU 010600630002F815

☞ D- Registerテーブルで定義された番号から1を引いた数を適用する必要があります。

■ 受信フォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信アドレス	2 文字	8-bit
機能コード - 06	2 文字	8-bit
D-Register Hi	2 文字	8-bit
D-Register Lo	2 文字	8-bit
書き込みデータ Hi	2 文字	8-bit
書き込みデータ Lo	2 文字	8-bit
エラー検出	2 文字	16-bit
通信の終端文字	2 文字 (CR+LF)	なし

◆ 例

正常に設定された場合、以下のように受信されます。

- MODBUS ASCII :01060063000294[cr][lf]
- MODBUS RTU 010600630002F815

6.5 機能コード - 08

機能コード-08は、自己診断用に使用しています。

■ 送信フォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信アドレス	2 文字	8-bit
機能コード - 08	2 文字	8-bit
診断コード Hi	2 文字	8-bit
診断コード Lo	2 文字	8-bit
データ Hi	2 文字	8-bit
データ Lo	2 文字	8-bit
エラー検出	2 文字	16-bit
通信の終端文字	2 文字 (CR+LF)	なし

◆ 例

以下のようなフレームを自己診断用に送信した場合

- MODBUS ASCII :010800000002F5[cr][lf]
- MODBUS RTU 01080000000261CA

■ 受信フォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信アドレス	2 文字	8-bit
機能コード - 08	2 文字	8-bit
診断コード Hi	2 文字	8-bit
診断コード Lo	2 文字	8-bit
データ Hi	2 文字	8-bit
データ Lo	2 文字	8-bit
エラー検出	2 文字	16-bit
通信の終端文字	2 文字 (CR+LF)	なし

◆ 例

正常に設定された場合、以下のように受信されます。

- MODBUS ASCII :010800000002F5[cr][lf]
- MODBUS RTU 01080000000261CA

6.6 機能コード - 16

機能コード-16は、一連のD-Registerの内容を最大64個まで加入することができます。

■ 送信フォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信アドレス	2文字	8-bit
機能コード - 16	2文字	8-bit
D-Register Hi	2文字	8-bit
D-Register Lo	2文字	8-bit
書き込み 個数 Hi	2文字	8-bit
書き込み 個数 Lo	2文字	8-bit
データ byte 数	2文字	8-bit
データ - 1 Hi	2文字	8-bit
データ - 1 Lo	2文字	8-bit
...
データ - n Hi	2文字	8-bit
データ - n Lo	2文字	8-bit
エラー検出	2文字(CR+LF)	なし
通信の終端文字	2文字	16-bit

◆ 例

定値運転時のCH1.TSP (D0104) に'10.0'を、CH2.TSP (D0105) に'20.0'を設定する場合

- MODBUS ASCII :01100067000204006400C856[cr][lf]
- MODBUS RTU 01100067000204006400C8F428

■ 受信フォーマット

内 容	ASCII	RTU
通信の先頭文字	:(コロン)	なし
通信アドレス	2文字	8-bit
機能コード - 16	2文字	8-bit
D-Register Hi	2文字	8-bit
D-Register Lo	2文字	8-bit
書き込み 個数 Hi	2文字	8-bit
書き込み 個数 Lo	2文字	8-bit
エラー検出	2文字	16-bit
通信の終端文字	2文字(CR+LF)	なし

◆ 例

正常に設定された場合、以下のように受信されます。

- MODBUS ASCII :01100067000286[cr][lf]
- MODBUS RTU 011000670002F017

7. D-REGISTER 説明

D-RegisterはTEMP2520のすべての状態を通信を介して確認できるように提供されるデータの集まりです。

内容に応じて、デフォルトで100個単位でグループ化されており、その内容は次のとおりです。

D-Register 範囲	グループ名	内 容	Read	Write
D0001~D0099	PROCESS	基本的な運転情報を表示します。	○	◆
D0100~D0199	FUNCTION	運転情報の設定	○	○
D0200~D0299	RESERVATION	時間とスケジュール機能の設定	○	△
D0300~D0399	ON/OFF SIGNAL	ON/OFF シグナルの設定	○	○
D0400~D0499	INNER SIGNAL	インナーシグナルの設定	○	○
D0500~D0599	ALARM SIGNAL	警報シグナル設定	○	○
D0600~D0699	SEG ALARM SIGNAL	セグメント警報シグナル設定	○	○
D0700~D0799	TIME SIGNAL	タイムシグナル設定	○	○
D0800~D0899	COMMUNICATION	通信関連情報	○	△
D0900~D0999	PICTURE	ユーザーの画面の設定	○	○
D1000~D1099	PID1	P.I.D グループの設定 - 1	○	○
D1100~D1199	PID2	P.I.D グループの設定 - 2	○	○
D1200~D1299	INPUT	センサー入力の設定	○	○
D1300~D1399	OUTPUT	転送&制御出力の設定	○	○
D1400~D1499	DO CONFIG1	DO リレーの設定 - 1	○	○
D1500~D1599	DO CONFIG2	DO リレーの設定 - 2	○	○
D1600~D1699	DI CONFIG1	DI 機能と動作の設定	○	○
D1700~D1799	DI CONFIG2	DI エラーの名称を設定 - 1	○	○
D1800~D1899	DI CONFIG3	DI エラーの名称を設定 - 2	○	○
D1900~D1999	INITIAL1	初期設定 - 1	○	○
D2000~D2099	INITIAL2	初期設定 - 2	○	◆
D2100~D2199	PROGRAM	プログラムパターンの設定	○	○
D2200~D2299	PATTERN INFO	パターン情報	○	◆
D2300~D3999	FILE1 ~ FILE17	パターン情報	○	◆

☞ それぞれのD-Registerは、16進数4桁 (2-Byte) で構成されています。

- ○ : 適用される範囲のすべてのパラメータに読み取りまたは書き込みが可能です。
- △ : 適用される範囲で部分的に読み取りまたは書き込みが可能です。
- ◆ : 適用される範囲のすべてのパラメータに読み取りまたは書き込みができません。

7.1 PROCESS

PROCESSグループではTEMP2520の記録時に発生する基本的なデータが格納されています。この中には様々な状態をBitで表示されるBit Mapの情報があり、その内容は次のとおりです。

■ TEMP2520のBit Map情報-1

BIT	CH1NOW.STS	CH2NOW.STS	CH1IS.STS	CH2IS.STS	CH1TS.STS	CH2TS.STS
	(D0010)	(D0011)	(D0012)	(D0013)	(D0014)	(D0015)
0	CH1.RESET	CH2.RESET	IS1	IS9	TS1	TS1
1	CH1.FIX	CH2.FIX	IS2	IS10	TS2	TS2
2	CH1.PROG	CH2.PROG	IS3	IS11	TS3	TS3
3	CH1.HOLD	CH2.HOLD	IS4	IS12	TS4	TS4
4	CH1.WAIT	CH2.WAIT	IS5	IS13	TS5	TS5
5	CH1.AT	CH2.AT	IS6	IS14	TS6	TS6
6			IS7	IS15	TS7	TS7
7			IS8	IS16	TS8	TS8
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

BIT	CH1ALM.STS	CH2ALM.STS	CH1SEGALM.STS	CH2SEGALM.STS	CH1ONOFF.STS	CH2ONOFF.STS
	(D0016)	(D0017)	(D0018)	(D0019)	(D0020)	(D0021)
0	ALM1	ALM5	SEGALM1	SEGALM1	T1	T8
1	ALM2	ALM6	SEGALM2	SEGALM2	T2	T9
2	ALM3	ALM7	SEGALM3	SEGALM3	T3	T10
3	ALM4	ALM8	SEGALM4	SEGALM4	T4	T11
4					T5	T12
5					T6	T13
6					T7	T14
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

TEMP2520のBit Map情報-2

BIT	CH1ADERR.STS	CH2ADERR.STS	CH1DOCTR.STS	CH2DOCTR.STS	CH1CTR.STS	CH2CTR.STS
	(D0022)	(D0023)	(D0024)	(D0025)	(D0026)	(D0027)
0	+OVER	+OVER	RUN	RUN	RUN	RUN
1	-OVER	-OVER	WAIT	WAIT	WAIT	WAIT
2	S.OPN	S.OPN	UP	UP	UP	UP
3			DOWN	DOWN	DOWN	DOWN
4			SOAK	SOAK	SOAK	SOAK
5			FEND	FEND	FEND	FEND
6			PTEND	PTEND	PTEND	PTEND
7			1REF	1REF	1REF	1REF
8			2REF	2REF	2REF	2REF
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

BIT	D0.STS1	D0.STS2	D1.DATA	SYS.STS		
	(D0028)	(D0029)	(D0030)	(D0031)		
0	D01	D017	D11	DISP.COMERR		
1	D02	D018	D12	IO.COMERR		
2	D03	D019	D13	SD.INSERT		
3	D04	D020	D14			
4	D05	D021	D15			
5	D06	D022	D16			
6	D07	D023	D17			
7	D08	D024	D18			
8	D09	D025	D19			
9	D010	D026	D110			
10	D011	D027	D111			
11	D012	D028	D112			
12	D013	D029	D113			
13	D014	D030	D114			
14	D015	D031	D115			
15	D016	D032	D116			

■ Bit Map 情報 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0010	CH1NOW.STS	[CH1] 運転関連のステータス情報を表示します。
D0011	CH2NOW.STS	[CH2] 運転関連のステータス情報を表示します。
D0012	CH1IS.STS	[CH1] インナーシグナル発生情報を表示します。
D0013	CH2IS.STS	[CH2] インナーシグナル発生情報を表示します。
D0014	CH1TS.STS	[CH1] タイムシグナル発生情報を表示します。
D0015	CH2TS.STS	[CH2] タイムシグナル発生情報を表示します。
D0016	CH1ALM.STS	[CH1] アラームシグナル発生情報を表示します。
D0017	CH2ALM.STS	[CH2] アラームシグナル発生情報を表示します。
D0018	CH1SEGALM.STS	[CH1] セグメントアラームシグナル発生情報を表示します。
D0019	CH2SEGALM.STS	[CH2] セグメントアラームシグナル発生情報を表示します。
D0020	CH1ONOFF.STS	[CH1] ONOFF シグナル発生情報を表示します。
D0021	CH2ONOFF.STS	[CH2] ONOFF シグナル発生情報を表示します。
D0022	CH1ADERR.STS	[CH1] 制御の範囲外のエラー情報を表示します。
D0023	CH2ADERR.STS	[CH2] 制御の範囲外のエラー情報を表示します。
D0024	CH1DOCTR.STS	[CH1] 運転関連の出力情報を表示します。
D0025	CH2DOCTR.STS	[CH2] 運転関連の出力情報を表示します。
D0026	CH1CTR.STS	[CH1] 運転関連の画面の状態表示情報を表示します。
D0027	CH2CTR.STS	[CH2] 運転関連の画面の状態表示情報を表示します。
D0028	D0.STS1	I/O リレーボードを介して出力する出力情報を表示します。
D0029	D0.STS2	
D0030	D1.DATA	D1 エラー発生情報を表示します。
D0031	SYS.STS	メインコントロールとディスプレイ、またはメインコントロールとI/Oリレーボードでの通信エラーが発生とSDカードの使用情報を表示します。

■ 共通の運転に関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0001	CH1.NPV	[CH1] 現在の測定値
D0002	CH2.NPV	[CH2] 現在の測定値
D0003	CH1.NSP	[CH1] 現在の測定値
D0004	CH2.NSP	[CH2] 現在の測定値
D0005	CH1.MVOUT	[CH1] 制御の印刷可能枚数
D0006	CH2.MVOUT	[CH2] 制御の印刷可能枚数
D0007	CH1.CPIDNO	[CH1] 現在適用されているPID番号
D0008	CH2.CPIDNO	[CH2] 現在適用されているPID番号
D0034	CH1RUN.TIME_H	[CH1] 運転時間 (時)
D0035	CH1RUN.TIME_M	[CH1] 運転時間 (分)
D0036	CH1RUN.TIME_S	[CH1] 運転時間 (秒)
D0037	CH2RUN.TIME_H	[CH2] 運転時間 (時)
D0038	CH2RUN.TIME_M	[CH2] 運転時間 (分)
D0039	CH2RUN.TIME_S	[CH2] 運転時間 (秒)
D0071	CH1.CMVOUT	[CH1] [加熱側]制御の印刷可能枚数
D0072	CH1.CMVOUT	[CH1] [冷却側]制御の印刷可能枚数
D0073	CH2.CMVOUT	[CH2] [加熱側]制御の印刷可能枚数
D0074	CH2.CMVOUT	[CH2] [冷却側]制御の印刷可能枚数

PROGRAM 運転関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0040	CH1RUN.PTNO	[CH1] 現在運転中のプログラムパターン番号
D0041	CH1RUN.SEGNO	[CH1] 現在運転中のセグメント番号
D0042	CH2RUN.PTNO	[CH2] 現在運転中のプログラムパターン番号
D0043	CH2RUN.SEGNO	[CH2] 現在運転中のセグメント番号
D0044	CH1NOW.PT.RPT	[CH1] 現在進行中のパターンの繰り返し回数
D0045	CH1TOTAL.PT.RPT	[CH1] 設定されたパターンの繰り返し回数
D0046	CH2NOW.PT.RPT	[CH2] 現在進行中のパターンの繰り返し回数
D0047	CH2TOTAL.PT.RPT	[CH2] 設定されたパターンの繰り返し回数
D0048	CH1NOW.SEG.RPT	[CH1] 現在進行中のパターンの繰り返し回数
D0049	CH1TOTAL.SEG.RPT	[CH1] 設定されたセグメントの繰り返し回数
D0050	CH2NOW.SEG.RPT	[CH2] 現在進行中のセグメントの繰り返し回数
D0051	CH2TOTAL.SEG.RPT	[CH2] 設定されたセグメントの繰り返し回数
D0052	CH1NOW.SEGTM_H	[CH1] 現在運転中のセグメントの処理時間 (HIGH)
D0053	CH1NOW.SEGTM_L	[CH1] 現在運転中のセグメントの処理時間 (LOW)
D0054	CH1TOTAL.SEGTM_H	[CH1] 現在運転中のセグメントの処理時間 (HIGH)
D0055	CH1TOTAL.SEGTM_L	[CH1] 現在運転中のセグメントの処理時間 (LOW)
D0056	CH2NOW.SEGTM_H	[CH2] 現在運転中のセグメントの処理時間 (HIGH)
D0057	CH2NOW.SEGTM_L	[CH2] 現在運転中のセグメントの処理時間 (LOW)
D0058	CH2TOTAL.SEGTM_H	[CH2] 現在運転中のセグメントの処理時間 (HIGH)
D0059	CH2TOTAL.SEGTM_L	[CH2] 現在運転中のセグメントの処理時間 (LOW)
D0060	CH1PREV.TSP	[CH1] 前のセグメントの目標設定値
D0061	CH1NOW.TSP	[CH1] 現在のセグメントの目標設定値
D0062	CH2PREV.TSP	[CH2] 前のセグメントの目標設定値
D0063	CH2NOW.TSP	[CH2] 現在のセグメントの目標設定値
D0065	USED PATTERN	設定されたパターンのこと
D0066	USED SEGMENT	設定されたセグメントの数

7.2 FUNCTION

FUNCTIONグループはTEMP2520の機器の動作に関連するD- Registerで構成されています。

■ 共通の運転に関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0112	CH1.FUZZY	[CH1] パージ動作を使用するかどうかを設定 (0: 静止, 1: 動作)
D0113	CH2.FUZZY	[CH2] パージ動作を使用するかどうかを設定 (0: 静止, 1: 動作)
D0121	KEYLOCK	キーロックを使用するかどうかを設定 (0: 静止, 1: 動作)
D0122	RS.SYNC	同期運転を使用するかどうかを設定 (0: 同期運転, 1: 非同期運転)
D0126	DRAW.CYCLE	内部メモリに保存周期の設定
D0127	PV.GRP_RECORD	内部メモリに保存するかどうかを設定 (0: 静止, 1: 動作)
D0130	REC.OP	外部SDメモリー保存するかどうかを設定 (0: 静止, 1: 動作)
D0131	REC.CYCLE	外部SDメモリー保存周期の設定
D0132	BACK.ITEM	送信項目の設定 (0: パターン, 1: バラ, 2: 全体)
D0133	BACK.DIR	転送方向の設定
D0136	CH1.AT	[CH1] オートチューニングを使用するかどうかを設定 (0: 静止, 1: 動作)
D0137	CH2.AT	[CH2] オートチューニングを使用するかどうかを設定 (0: 静止, 1: 動作)
D0150	PV.FONT	PVフォントを選択する (0: HEAD, 1: NORM, 2: ART)
D0151	BUZ.ONOFF	ブザーの使用有/無の設定 (0: 未使用, 1: 使用)
D0152	LIGHT.OFFTM	バックライトの持続時間を設定
D0153	CH.ROT.TIME	チャンネル表示の変更時刻を設定する
D0160	UTAG_USING	タグの使用有/無の設定 (0:未使用, 1:使用)
D0161 ~ D0163	CH1UTAG.NAME1~ CH1UTAG.NAME3	[CH1] タグ名は、最大6桁まで設定します。
D0164 ~ D0166	CH2UTAG.NAME1~ CH2UTAG.NAME3	[CH2] タグ名は、最大6桁まで設定します。

■ PROGRAM 運転関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0100	CH1SET.PTNO	[CH1] プログラム運転パターンの番号を設定
D0101	CH2SET.PTNO	[CH2] プログラム運転パターンの番号を設定
D0140	CH1WAIT.USE	[CH1] 待機動作の使用するかどうかを設定 (0:未使用, 1:使用)
D0141	CH2WAIT.USE	[CH2] 待機動作の使用するかどうかを設定 (0:未使用, 1:使用)
D0142	CH1WAIT_ZONE	[CH1] 待機エリアの設定
D0143	CH2WAIT_ZONE	[CH2] 待機エリアの設定
D0144	CH1WAIT_TIME	[CH1] 待機動作時間の設定
D0145	CH2WAIT_TIME	[CH2] 待機動作時間の設定
D0146	CH1WAIT.METHOD	[CH1] 待機動作の使用区間の設定 (0: 全体, 1: 維持セグ)
D0147	CH2WAIT.METHOD	[CH2] 待機動作の使用区間の設定 (0: 全体, 1: 維持セグ)

■ FIX 運転関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0104	CH1FIX.TSP	[CH1] 定値運転時の設定値の設定
D0105	CH2FIX.TSP	[CH2] 定値運転時の設定値の設定
D0110	CH1.SLOPE	[CH1] 立ち上がり/立ち下りの傾きを設定
D0111	CH2.SLOPE	[CH2] 立ち上がり/立ち下りの傾きを設定
D0114	CH1TIME.OP	[CH1] 定値運転時間の設定運転 (0:未使用, 1:使用)
D0115	CH1TIME.OP_H	[CH1] 定値運転時間の設定 (時)
D0116	CH1TIME.OP_M	[CH1] 定値運転時間の設定 (分&秒)
D0117	CH2TIME.OP	[CH2] 定値運転時間の設定運転 (0:未使用, 1:使用)
D0118	CH2TIME.OP_H	[CH2] 定値運転時間の設定 (時)
D0119	CH2TIME.OP_M	[CH2] 定値運転時間の設定 (分&秒)

■ 機器の動作に関連 D-Register

D-Reg.	記号	運転の内容	設定値	内容
D0102	CH1COM.OPMODE	RUN	1	[CH1] 運転
		HOLD	2	[CH1] ホールドを 使用/未使用
		STEP	3	[CH1] セグメントステップ
		STOP	4	[CH1] 停止
D0103	CH2COM.OPMODE	RUN	1	[CH2] 運転
		HOLD	2	[CH2] ホールドを 使用/未使用
		STEP	3	[CH2] セグメントステップ
		STOP	4	[CH2] 停止
D0106	CH1OP.MODE	PROG	0	[CH1] プログラム運転
		FIX	1	[CH1] 定値運転
D0107	CH2OP.MODE	PROG	0	[CH2] プログラム運転
		FIX	1	[CH2] 定値運転
D0108	CH1PWR.MODE	STOP	0	[CH1] 停電復帰時の停止
		COLD	1	[CH1] 停電復帰時の再起動
		HOT	2	[CH1] 停電復帰時の連続
D0109	CH2PWR.MODE	STOP	0	[CH2] 停電復帰時の停止
		COLD	1	[CH2] 停電復帰時の再起動
		HOT	2	[CH2] 停電復帰時の連続

- ☞ プログラム運転や政治運転を通信で実行するためには、TEMP2520が停止（プログラム停止/政治運転停止）状態にする必要があります。たとえば、[CH1]政治運転状態で、プログラム運転状態に移行するには、まずプログラムの停止状態（D0106=0000、D0102=0004）に切り替えた後、プログラム運転状態に移行すべきです。

7.3 RESERVATION

RESERVATIONグループはTEMP2520の時間を確認、設定、および予約、PROGRAM運転開始時刻と運転終了時に関連D-Registerに設定されています。

■ 時間に関連する D-Register

D-Reg.	記号	内容	Read	Write
D0202	NOW.YEAR	TEMP2520の現在の時刻(年)	○	×
D0203	NOW.MONTH	TEMP2520の現在の時刻(月)	○	×
D0204	NOW.DAY	TEMP2520の現在の時刻(日)	○	×
D0205	NOW.AMPM	TEMP2520の現在の時刻(午前/午後)	○	×
D0206	NOW.HOUR	TEMP2520の現在の時刻(時)	○	×
D0207	NOW.MIN	TEMP2520の現在の時刻(分)	○	×
D0208	C.YEAR	TEMP2520の現在の時刻の設定(年)	×	○
D0209	C.MONTH	TEMP2520の現在の時刻の設定(月)	×	○
D0210	C.DAY	TEMP2520の現在の時刻の設定(日)	×	○
D0211	C.AMPM	TEMP2520の現在の時刻の設定(午前/午後)	×	○
D0212	C.HOUR	TEMP2520の現在の時刻の設定(時)	×	○
D0213	C.MIN	TEMP2520の現在の時刻の設定(分)	×	○
D0214	CH1R.YEAR	[CH1] ご予約時間の設定(年)	○	○
D0215	CH1R.MONTH	[CH1] ご予約時間の設定(月)	○	○
D0216	CH1R.DAY	[CH1] ご予約時間の設定(日)	○	○
D0217	CH1R.AMPM	[CH1] ご予約時間の設定(午前/午後)	○	○
D0218	CH1R.HOUR	[CH1] ご予約時間の設定(時)	○	○
D0219	CH1R.MIN	[CH1] ご予約時間の設定(分)	○	○
D0220	CH2R.YEAR	[CH2] ご予約時間の設定(年)	○	○
D0221	CH2R.MONTH	[CH2] ご予約時間の設定(月)	○	○
D0222	CH2R.DAY	[CH2] ご予約時間の設定(日)	○	○
D0223	CH2R.AMPM	[CH2] ご予約時間の設定(午前/午後)	○	○
D0224	CH2R.HOUR	[CH2] ご予約時間の設定(時)	○	○
D0225	CH2R.MIN	[CH2] ご予約時間の設定(分)	○	○

■ 予約作業 ON/OFF

D-Reg.	記号	運転の内容	設定値	内容
D0200	CH1RESERVE	OFF	0	[CH1] 予約解除
		ON	1	[CH1] 予約設定
D0201	CH2RESERVE	OFF	0	[CH2] 予約解除
		ON	1	[CH2] 予約設定

PROGRAM運転開始時刻と運転終了時間

D-Reg.	記号	内容
D0260	CH1_TIME_VALID	[CH1] 開始時刻と終了時刻を表示する(0:正常, 1:---.-)
D0261	CH1_START_YEAR	[CH1] 開始時刻の設定(年)
D0262	CH1_START_MON	[CH1] 開始時刻の設定(月)
D0263	CH1_START_DAY	[CH1] 開始時刻の設定(日)
D0264	CH1_START_HOUR	[CH1] 開始時刻の設定(時)
D0265	CH1_START_MIN	[CH1] 開始時刻の設定(分)
D0266	CH1_END_YEAR	[CH1] 終了時刻の設定(年)
D0267	CH1_END_MON	[CH1] 終了時刻の設定(月)
D0268	CH1_END_DAY	[CH1] 終了時刻の設定(日)
D0269	CH1_END_HOUR	[CH1] 終了時刻の設定(時)
D0270	CH1_END_MIN	[CH1] 終了時刻の設定(分)
D0271	CH2TIME_VALID	[CH2] 開始時刻と終了時刻を表示する(0:正常, 1:---.-)
D0272	CH2_START_YEAR	[CH2] 開始時刻の設定(年)
D0273	CH2_START_MON	[CH2] 開始時刻の設定(月)
D0274	CH2_START_DAY	[CH2] 開始時刻の設定(日)
D0275	CH2_START_HOUR	[CH2] 開始時刻の設定(時)
D0276	CH2_START_MIN	[CH2] 開始時刻の設定(分)
D0277	CH2_END_YEAR	[CH2] 終了時刻の設定(年)
D0278	CH2_END_MON	[CH2] 終了時刻の設定(月)
D0279	CH2_END_DAY	[CH2] 終了時刻の設定(日)
D0280	CH2_END_HOUR	[CH2] 終了時刻の設定(時)
D0281	CH2_END_MIN	[CH2] 終了時刻の設定(分)

7.4 ON/OFF SIGNAL

CH1]側6個、[CH2]側の6つのON/ OFF信号を設定します。

■ [CH1]側ON/ OFF信号に関連 D-Register

D-Reg.	記 号	内 容
D0301	T1.LSP	[CH1] ON/OFF 信号1の動作で LOW SPを設定します。
D0302	T1.MSP	[CH1] ON/OFF 信号1の動作で MIDDLE SPを設定します。
D0303	T1.HSP	[CH1] ON/OFF 信号1の動作で HIGH SPを設定します。
D0304	T1.HDV	[CH1] ON/OFF 信号1 HIGH区間の動作POINTを設定します。
D0305	T1.LDV	[CH1] ON/OFF 信号1 LOW区間の動作POINTを設定します。
.	.	.
D0336	T6.LSP	[CH1] ON/OFF 信号6の動作で LOW SPを設定します。
D0337	T6.MSP	[CH1] ON/OFF 信号6の動作で MIDDLE SPを設定します。
D0338	T6.HSP	[CH1] ON/OFF 信号6の動作で HIGH SPを設定します。
D0339	T6.HDV	[CH1] ON/OFF 信号6 HIGH区間の動作POINTを設定します。
D0340	T6.LDV	[CH1] ON/OFF 信号6 LOW区間の動作POINTを設定します。

■ [CH1]側ON/ OFF信号に関連 D-Register

D-Reg.	記 号	内 容
D0343	T8.LSP	[CH2] ON/OFF 信号8の動作で LOW SPを設定します。
D0344	T8.MSP	[CH2] ON/OFF 信号8の動作で MIDDLE SPを設定します。
D0345	T8.HSP	[CH2] ON/OFF 信号8の動作で HIGH SPを設定します。
D0346	T8.HDV	[CH2] ON/OFF 信号8 HIGH区間の動作POINTを設定します。
D0347	T8.LDV	[CH2] ON/OFF 信号8 LOW区間の動作POINTを設定します。
.	.	.
D0378	T13.LSP	[CH2] ON/OFF 信号13の動作で LOW SPを設定します。
D0379	T13.MSP	[CH2] ON/OFF 信号13の動作で MIDDLE SPを設定します。
D0380	T13.HSP	[CH2] ON/OFF 信号13の動作で HIGH SPを設定します。
D0381	T13.HDV	[CH2] ON/OFF 信号13 HIGH区間の動作POINTを設定します。
D0382	T13.LDV	[CH2] ON/OFF 信号13 LOW区間の動作POINTを設定します。

7.5 INNER SIGNAL

[CH1]側8個、[CH2]側8つのインナーシグナルを設定します。

■ [CH1]側インナーシグナル関連D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0401	IS1.TYPE	[CH1] インナーシグナル1の種類を選択します。 (0:SP, 1:PV, 2:TSP)
D0402	IS1.BAND	[CH1] インナーシグナル1の動作方向を選択します。 (0: 範囲内, 1: 範囲外)
D0403	IS1.RH	[CH1] インナーシグナル1の上限値を設定します。
D0404	IS1.RL	[CH1] インナーシグナル1の下限値を設定します。
D0405	IS1.DYT	[CH1] インナーシグナル1の遅延時間を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D0443	IS8.TYPE	[CH1] インナーシグナル8の種類を選択します。 (0:SP, 1:PV, 2:TSP)
D0444	IS8.BAND	[CH1] インナーシグナル8の動作方向を選択します。 (0: 範囲内, 1: 範囲外)
D0445	IS8.RH	[CH1] インナーシグナル8の上限値を設定します。
D0446	IS8.RL	[CH1] インナーシグナル8の下限値を設定します。
D0447	IS8.DYT	[CH1] インナーシグナル8の遅延時間を設定します。

■ [CH2]側インナーシグナル関連D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0449	IS9.TYPE	[CH2] インナーシグナル9の種類を選択します。 (0:SP, 1:PV, 2:TSP)
D0450	IS9.BAND	[CH2] インナーシグナル9の動作方向を選択します。 (0: 範囲内, 1: 範囲外)
D0451	IS9.RH	[CH2] インナーシグナル9の上限値を設定します。
D0452	IS9.RL	[CH2] インナーシグナル9の下限値を設定します。
D0453	IS9.DYT	[CH2] インナーシグナル9の遅延時間を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D0491	IS16.TYPE	[CH2] インナーシグナル16の種類を選択します。 (0:SP, 1:PV, 2:TSP)
D0492	IS16.BAND	[CH2] インナーシグナル16の動作方向を選択します。 (0: 範囲内, 1: 範囲外)
D0493	IS16.RH	[CH2] インナーシグナル16の上限値を設定します。
D0494	IS16.RL	[CH2] インナーシグナル16の下限値を設定します。
D0495	IS16.DYT	[CH2] インナーシグナル16の遅延時間を設定します。

7.6 ALARM SIGNAL

[CH1]側4個、[CH2]側4つのアラーム信号を設定します。

■ [CH1] アラートシグナル関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0501	CH1ALM.OP	[CH1] 警報シグナルの動作条件を選択します。 (0:運転, 1:常に)
D0505	ALM1.TYPE	警報シグナル1の種類を選択します。
D0506	ALM1.POINT	警報シグナル1の警報値を設定します。
D0507	ALM1.H_POINT	警報シグナル1の上限警報値を設定します。
D0508	ALM1.L_POINT	警報シグナル1の下限警報値を設定します。
D0509	ALM1.HYS	警報シグナル1のヒステリシスを設定します。
D0510	ALM1.DYT	警報シグナル1の待機時間を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D0526	ALM4.TYPE	警報シグナル4の種類を選択します。
D0527	ALM4.POINT	警報シグナル4の警報値を設定します。
D0528	ALM4.H_POINT	警報シグナル4の上限警報値を設定します。
D0529	ALM4.L_POINT	警報シグナル4の下限警報値を設定します。
D0530	ALM4.HYS	警報シグナル4のヒステリシスを設定します。
D0531	ALM4.DYT	警報シグナル4の待機時間を設定します。

■ [CH2] アラートシグナル関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0502	CH2ALM.OP	[CH2] 警報シグナルの動作条件を選択します。 (0:運転, 1:常に)
D0533	ALM5.TYPE	警報シグナル5の種類を選択します。
D0534	ALM5.POINT	警報シグナル5の警報値を設定します。
D0535	ALM5.H_POINT	警報シグナル5の上限警報値を設定します。
D0536	ALM5.L_POINT	警報シグナル5の下限警報値を設定します。
D0537	ALM5.HYS	警報シグナル5のヒステリシスを設定します。
D0538	ALM5.DYT	警報シグナル5の待機時間を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D0554	ALM8.TYPE	警報シグナル8の種類を選択します。
D0555	ALM8.POINT	警報シグナル8の警報値を設定します。
D0556	ALM8.H_POINT	警報シグナル8の上限警報値を設定します。
D0557	ALM8.L_POINT	警報シグナル8の下限警報値を設定します。
D0558	ALM8.HYS	警報シグナル8のヒステリシスを設定します。
D0559	ALM8.DYT	警報シグナル8の待機時間を設定します。

7.7 SEGMENT ALARM SIGNAL

[CH1]側8個、[CH2]側8つのセグメントのアラーム信号を設定します。

■ [CH1] セグメント警報シグナル関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0601	CH1SA1.TYPE	[CH1] セグメント警報シグナル1の種類を選択します。
D0602	CH1SA1.POINT	[CH1] セグメント警報シグナル1の警報値を設定します。
D0603	CH1SA1.H_POINT	[CH1] セグメント警報シグナル1の上限警報値を設定します。
D0604	CH1SA1.L_POINT	[CH1] セグメント警報シグナル1の下限警報値を設定します。
D0605	CH1SA1.HYS	[CH1] セグメント警報シグナル1のヒステリシスを設定します。
D0606	CH1SA1.DYT	[CH1] セグメント警報シグナル1の待機時間を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D0643	CH1SA8.TYPE	[CH1] セグメント警報シグナル8の種類を選択します。
D0644	CH1SA8.POINT	[CH1] セグメント警報シグナル8の警報値を設定します。
D0645	CH1SA8.H_POINT	[CH1] セグメント警報シグナル8の上限警報値を設定します。
D0646	CH1SA8.L_POINT	[CH1] セグメント警報シグナル8の下限警報値を設定します。
D0647	CH1SA8.HYS	[CH1] セグメント警報シグナル8のヒステリシスを設定します。
D0648	CH1SA8.DYT	[CH1] セグメント警報シグナル8の待機時間を設定します。

■ [CH2] セグメント警報シグナル関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0651	CH2SA1.TYPE	[CH2] セグメント警報シグナル1の種類を選択します。
D0652	CH2SA1.POINT	[CH2] セグメント警報シグナル1の警報値を設定します。
D0653	CH2SA1.H_POINT	[CH2] セグメント警報シグナル1の上限警報値を設定します。
D0654	CH2SA1.L_POINT	[CH2] セグメント警報シグナル1の下限警報値を設定します。
D0655	CH2SA1.HYS	[CH2] セグメント警報シグナル1のヒステリシスを設定します。
D0656	CH2SA1.DYT	[CH2] セグメント警報シグナル1の待機時間を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D0693	CH2SA8.TYPE	[CH2] セグメント警報シグナル8の種類を選択します。
D0694	CH2SA8.POINT	[CH2] セグメント警報シグナル8の警報値を設定します。
D0695	CH2SA8.H_POINT	[CH2] セグメント警報シグナル8の上限警報値を設定します。
D0696	CH2SA8.L_POINT	[CH2] セグメント警報シグナル8の下限警報値を設定します。
D0697	CH2SA8.HYS	[CH2] セグメント警報シグナル8のヒステリシスを設定します。
D0698	CH2SA8.DYT	[CH2] セグメント警報シグナル8の待機時間を設定します。

7.8 TIME SIGNAL

19個のタイムシグナルを設定します。

■ タイムシグナル関連 D-Register

D-Reg.	記 号	内 容
D0701	TS2DYTM_H	タイムシグナル2の出力遅延時間（時）を設定します。
D0702	TS2DYTM_L	タイムシグナル2の出力遅延時間（分&秒）を設定します。
D0703	TS2KPTM_H	タイムシグナル2の出力保持時間（時）を設定します。
D0704	TS2KPTM_L	タイムシグナル2の出力保持時間（分&秒）を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D0773	TS20DYTM_H	タイムシグナル20の出力遅延時間（時）を設定します。
D0774	TS20DYTM_L	タイムシグナル20の出力遅延時間（分&秒）を設定します。
D0775	TS20KPTM_H	タイムシグナル20の出力保持時間（時）を設定します。
D0776	TS20KPTM_L	タイムシグナル20の出力保持時間（分&秒）を設定します。

7.9 COMMUNICATION

通信関連の設定情報を確認します。

■ COMMUNICATION 関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0801	COM2.PROTOCOL	[COM2] 通信プロトコルの設定を確認することができます。
D0802	COM2.BPS	[COM2] 通信速度の設定を確認することができます。
D0803	COM2.PARITY	[COM2] パリティの設定を確認することができます。
D0804	COM2.STOP.BIT	[COM2] ストップビットの設定を確認することができます。
D0805	COM2.DATA.LENGTH	[COM2] データの長さの設定を確認することができます。
D0806	COM2.ADDRESS	[COM2] アドレスの設定を確認することができます。
D0807	COM2.RESPONSE	[COM2] 応答遅延時間の設定を確認することができます。
D0808	COM4.BPS	[COM4] 通信速度の設定を確認することができます。
D0809	SYNC.MST	SYNC運転でのマスターを選択します。. (0: 未使用, 1:CH1, 2:CH2)

7.10 PICTURE

ユーザーの画面表示を有効に有/無、および時間を設定します。

■ ユーザーの画面に関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D0901	VIEW.ROTATE	ユーザーBMP使用油/大根選択します。
D0902	R.ST_TIME	運転画面で設定した時間の間何もKEY入力がない場合は、動作を開始します。
D0903	R.INT_TIME	設定した時間を与えることにより保存されたユーザーBMPを切り替えます。

7.11 PID

[CH1]側6個、[CH2]側の6つのPIDを設定します。

■ PIDの適用範囲および制御属性の設定関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1001	CH1.RP1	[CH1] ジョンPIDを選択するしきい値を設定します。
D1002	CH1.RP2	
D1003	CH1.RP3	
D1004	CH1.RP4	
D1005	CH2.RP1	[CH2] ジョンPIDを選択するしきい値を設定します。
D1006	CH2.RP2	
D1007	CH2.RP3	
D1008	CH2.RP4	
D1009	CH1.RHYS	[CH1] ジョンPIDでヒステリシス幅を設定します。
D1010	CH1.RDEV	[CH1] 偏差PID選択時の偏差を設定します。
D1011	CH2.RHYS	[CH2] ジョンPIDでヒステリシス幅を設定します。
D1012	CH2.RDEV	[CH2] 偏差PID選択時の偏差を設定します。
D1013	CH1.CMOD	[CH1] 制御方式を選択します。(0:D.PV, 1:D.DV)
D1014	CH2.CMOD	[CH2] 制御方式を選択します。(0:D.PV, 1:D.DV)
D1015	CH1AT.POINT	[CH1] オートチューニング基準値を設定します。
D1016	CH2AT.POINT	[CH2] オートチューニング基準値を設定します。
D1017	CH1AT.DISPLAY	[CH1] チューニングキーを表示するかどうかを選択します。 (0:非表示, 1:表示)
D1018	CH2AT.DISPLAY	[CH2] チューニングキーを表示するかどうかを選択します。 (0:非表示, 1:表示)
D1019	CH1PID.OPMODE	[CH1] PID選択方式を設定します。(0:セグ, 1:ジョン)
D1020	CH2PID.OPMODE	[CH2] PID選択方式を設定します。(0:セグ, 1:ジョン)
D1021	CH1PID.APP	[CH1] ジョンPIDの選択基準を設定します。(0:PV, 1:SP)
D1022	CH2PID.APP	[CH2] ジョンPIDの選択基準を設定します。(0:PV, 1:SP)
D1065	1.CH1DB	[CH1] PID1の出力デッドバンドを設定します。
.	.	.
D1076	6.CH2DB	[CH2] PID6の出力デッドバンドを設定します。
D1079	CH1HCHYS	[CH1] 加熱/冷却、ON/OFF制御時の内部制御出力値に適用されるヒステリシス値を設定
D1080	CH2HCHYS	[CH2] 加熱/冷却、ON/OFF制御時の内部制御出力値に適用されるヒステリシス値を設定

■ [CH1] 加熱側（一般）PID グループ関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1101	CH1.1_P	[CH1] PID1の比例定数を設定します。
D1102	CH1.1_I	[CH1] PID1の積分時間を設定します。
D1103	CH1.1_D	[CH1] PID1の微分時間を設定します。
D1104	CH1.1_OH	[CH1] PID1の制御出力動作範囲の上限値を設定します。
D1105	CH1.1_OL	[CH1] PID1の制御出力動作範囲の下限値を設定します。
D1106	CH1.1_MR	[CH1] PID1の積分時間を手動で設定します。
D1107	CH1.1_HHYS	[CH1] PID1でON/ OFF制御時ヒステリシス上限値を設定します。
D1108	CH1.1_LHYS	[CH1] PID1でON/ OFF制御時ヒステリシス下限値を設定します。
.	.	.
.	.	.
D1141	CH1.6_P	[CH1] PID6の比例定数を設定します。
D1142	CH1.6_I	[CH1] PID6の積分時間を設定します。
D1143	CH1.6_D	[CH1] PID6の微分時間を設定します。
D1144	CH1.6_OH	[CH1] PID6の制御出力動作範囲の上限値を設定します。
D1145	CH1.6_OL	[CH1] PID6の制御出力動作範囲の下限値を設定します。
D1146	CH1.6_MR	[CH1] PID6の積分時間を手動で設定します。
D1147	CH1.6_HHYS	[CH1] PID6でON/ OFF制御時ヒステリシス上限値を設定します。
D1148	CH1.6_LHYS	[CH1] PID6でON/ OFF制御時ヒステリシス下限値を設定します。

■ [CH2] 加熱側（一般）PID グループ関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1151	CH2.1_P	[CH2] PID1の比例定数を設定します。
D1152	CH2.1_I	[CH2] PID1の積分時間を設定します。
D1153	CH2.1_D	[CH2] PID1の微分時間を設定します。
D1154	CH2.1_OH	[CH2] PID1の制御出力動作範囲の上限値を設定します。
D1155	CH2.1_OL	[CH2] PID1の制御出力動作範囲の下限値を設定します。
D1156	CH2.1_MR	[CH2] PID1の積分時間を手動で設定します。
D1157	CH2.1_HHYS	[CH2] PID1でON/ OFF制御時ヒステリシス上限値を設定します。
D1158	CH2.1_LHYS	[CH2] PID1でON/ OFF制御時ヒステリシス下限値を設定します。
.	.	.
.	.	.
D1191	CH2.6_P	[CH2] PID6の比例定数を設定します。
D1192	CH2.6_I	[CH2] PID6の積分時間を設定します。
D1193	CH2.6_D	[CH2] PID6の微分時間を設定します。
D1194	CH2.6_OH	[CH2] PID6の制御出力動作範囲の上限値を設定します。
D1195	CH2.6_OL	[CH2] PID6の制御出力動作範囲の下限値を設定します。
D1196	CH2.6_MR	[CH2] PID6の積分時間を手動で設定します。
D1197	CH2.6_HHYS	[CH2] PID6でON/ OFF制御時ヒステリシス上限値を設定します。
D1198	CH2.6_LHYS	[CH2] PID6でON/ OFF制御時ヒステリシス下限値を設定します。

■ [CH1] 冷却側 PID グループ関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1101	CH1.1_CP	[CH1] PID1の比例定数を設定します。
D1102	CH1.1_CI	[CH1] PID1の積分時間を設定します。
D1103	CH1.1_CD	[CH1] PID1の微分時間を設定します。
・	・	・
・	・	・
・	・	・
D1141	CH1.6_CP	[CH1] PID6の比例定数を設定します。
D1142	CH1.6_CI	[CH1] PID6の積分時間を設定します。
D1143	CH1.6_CD	[CH1] PID6の微分時間を設定します。

■ [CH2] 冷却側 PID グループ関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1151	CH2.1_CP	[CH2] PID1の比例定数を設定します。
D1152	CH2.1_CI	[CH2] PID1の積分時間を設定します。
D1153	CH2.1_CD	[CH2] PID1の微分時間を設定します。
・	・	・
・	・	・
・	・	・
D1191	CH2.6_CP	[CH2] PID6の比例定数を設定します。
D1192	CH2.6_CI	[CH2] PID6の積分時間を設定します。
D1193	CH2.6_CD	[CH2] PID6の微分時間を設定します。

7.12 INPUT

センサー入力の設定、各区間のセンサ入力キャリブレーションを設定します。

■ [CH1] センサ入力に関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1201	CH1.SENGP	[CH1] センサーグループを選択します。 (0:T/C, 1:RTD, 2:DCV)
D1202	CH1.SENTP	[CH1] センサの種類を設定します。
D1203	CH1.UNIT	[CH1] センサーユニットを設定します。
D1204	CH1.DP	[CH1] 小数点の位置を設定します。
D1205	CH1.TCSL	[CH1] 熱電対 (T/ C) の表示を選択します。 (0:T/C, 1:T/C+RJC, 2:RJC)
D1206	CH1.SOPN.SEL	[CH1] センサ断線時PV方向を選択します。 (0:未定、1:上昇、2:下降)
D1207	CH1.INRH	[CH1] 使用範囲の上限を設定します。
D1208	CH1.INRL	[CH1] 使用範囲の下限を設定します。
D1209	CH1.BIAS	[CH1] フルレンジ補正値を設定します。
D1210	CH1.INFL	[CH1] 入力ノイズ除去のために使用します。
D1212	CH1.INSH	[CH1] スケールの上限を設定します。
D1213	CH1.INSL	[CH1] スケールの下限を設定します。
D1231~D1238	CH1.BP1.DDV ~ CH1.BP8.DDV	[CH1] 各基準温度の補正温度を設定します。
D1239~D1246	CH1.BP1.DPV ~ CH1.BP8.DPV	[CH1] 補正を適用する各基準温度を設定します。
D1270, D2071	UNITNAME1, UNITNAME2	[CH1] DCVセンサーの単位の名称を設定します。

■ [CH2] センサ入力に関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1216	CH2.SENGP	[CH2] センサーグループを選択します。 (0:T/C, 1:RTD, 2:DCV)
D1217	CH2.SENTP	[CH2] センサの種類を設定します。
D1218	CH2.UNIT	[CH2] センサーユニットを設定します。
D1219	CH2.DP	[CH2] 小数点の位置を設定します。
D1220	CH2.TCSL	[CH2] 熱電対 (T/ C) の表示を選択します。 (0:T/C, 1:T/C+RJC, 2:RJC)
D1221	CH2.SOPN.SEL	[CH2] センサ断線時PV方向を選択します。 (0:未定、1:上昇、2:下降)
D1222	CH2.INRH	[CH2] 使用範囲の上限を設定します。
D1223	CH2.INRL	[CH2] 使用範囲の下限を設定します。
D1224	CH2.BIAS	[CH2] フルレンジ補正値を設定します。
D1225	CH2.INFL	[CH2] 入力ノイズ除去のために使用します。
D1227	CH2.INSH	[CH2] スケールの上限を設定します。
D1228	CH2.INSL	[CH2] スケールの下限を設定します。
D1249~D1256	CH2.BP1.DDV ~ CH2.BP8.DDV	[CH2] 各基準温度の補正温度を設定します。
D1257~D1264	CH2.BP1.DPV ~ CH2.BP8.DPV	[CH2] 補正を適用する各基準温度を設定します。
D1270, D2071	UNITNAME1, UNITNAME2	[CH2] DCVセンサーの単位の名称を設定します。

7.13 OUTPUT

制御出力および伝送出力を設定します。

■ [共通]制御出力および伝送出力関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1301~ D1304	OUT1.TYPE~ OUT4.TYPE	OUT1~OUT4の出力種類を設定します。
D1341~D1344	OUT1.MODE~OUT4.MODE	OUT1~OUT4の出力端子を設定します。(0:SSR, 1:SCR)

■ [1CH]制御出力および伝送出力関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1309	CH1.DIR	[CH1] 動作方向を選択します。(0:逆動作、1:正動作)
D1311	CH1.ARW	[CH1] 過積分防止の値を設定します。
D1313	CH1.UOPPR	[CH1] 制御出力の上昇変化率を設定します。
D1314	CH1.DNOPR	[CH1] 制御出力の下昇変化率を設定します。
D1317	CH1.HCT	[CH1] [加熱側]出力周期を設定します。
D1319	CH1.HPO	[CH1] [加熱側]緊急時出力を設定します。
D1321	CH1.HATG	[CH1] [加熱側]PID値を手動で調整するGAINの値を設定します。
D1325	CH1.RETT	[CH1] 伝送出力の種類を選択します。 (0:PV、1:SP、2:MV)
D1327	CH1.RETH	[CH1] 伝送出力範囲の上限値を設定します。
D1328	CH1.RETL	[CH1] 伝送出力範囲の下限値を設定します。
D1334	CH1.CCT	[CH1] [冷却側]出力周期を設定します。
D1336	CH1.CPO	[CH1] [冷却側]緊急時出力を設定します。
D1338	CH1.CAGT	[CH1] [冷却側]PID値を手動で調整するGAINの値を設定します。

■ [2CH]制御出力および伝送出力関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1310	CH2.DIR	[CH2] 動作方向を選択します。(0:逆動作、1:正動作)
D1312	CH2.ARW	[CH2] 過積分防止の値を設定します。
D1315	CH2.UOPPR	[CH2] 制御出力の上昇変化率を設定します。
D1316	CH2.DNOPR	[CH2] 制御出力の下昇変化率を設定します。
D1318	CH2.CT	[CH2] [加熱側]出力周期を設定します。
D1320	CH2.PO	[CH2] [加熱側]緊急時出力を設定します。
D1322	CH2.ATG	[CH2] [加熱側]PID値を手動で調整するGAINの値を設定します。
D1326	CH2.RETT	[CH2] 伝送出力の種類を選択します。 (0:PV、1:SP、2:MV)
D1329	CH2.RETH	[CH2] 伝送出力範囲の上限値を設定します。
D1330	CH2.RETL	[CH2] 伝送出力範囲の下限値を設定します。
D1335	CH2.CCT	[CH2] [冷却側]出力周期を設定します。
D1337	CH2.CPO	[CH2] [冷却側]緊急時出力を設定します。
D1339	CH2.CAGT	[CH2] [冷却側]PID値を手動で調整するGAINの値を設定します。

7.14 DO CONFIG

運転によって発生する信号をI/ Oリレーボードを介して出力するリレーを設定します。

■ [CH1] DO リレーの設定関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1401~D1408	CH1IS1.RLY~CH1IS8.RLY	[CH1] インナーシグナルを出力希望するリレー番号を設定します。
D1417~D1424	CH1TS1.RLY~CH1TS8.RLY	[CH1] タイムシグナルを出力希望するリレー番号を設定します。
D1433~D1436	CH1ALM1.RLY~CH1ALM4.RLY	[CH1] 警報信号を出力を希望するリレー番号を設定します。
D1441~D1444	CH1SA1.RLY~CH1SA4.RLY	[CH1] セグメント警報シグナルを出力 希望するリレー番号を設定します。
D1449~D1462	CH1T1.RLY~CH1T7.DYT	[CH1] ON/ OFF信号を出力希望するリレー番号と待機時間を設定します。
D1501,D1502	CH1RUN.RLY,CH1RUN.DYT	[CH1] 運転信号を出力 希望するリレー番号と待機時間を設定します。
D1505,D1506	CH1SOPN.RLY,CH1SOPN.KPT	[CH1] センサーオープンシグナルを出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1509,D1510	CH1WAIT.RLY,CH1WAIT.KPT	[CH1] 待機信号を出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1513,D1514	CH1UP.RLY,CH1UP.DEV	[CH1] 立ち上がりエッジのシグナルを出力希望するリレー番号と偏差値を設定します。
D1517,D1518	CH1SOAK.RLY,CH1SOAK.KPT	[CH1] 維持区間信号を出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1521,D1522	CH1DOWN.RLY,CH1DOWN.DEV	[CH1] 立ち下がりエッジのシグナルを出力希望するリレー番号と偏差値を設定します。
D1525,D1526	CH1FEND.RLY,CH1FEND.KPT	[CH1] 定値運転終了時にシグナルを出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1529,D1530	CH1PTEND.RLY,CH1PTEND.KPT	[CH1] プログラム運転終了時にシグナルを出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1533,D1534	CH1.1REF.RLY,CH1.1REF.DYT	[CH1] 1次冷凍機の動作のための信号を出力希望するリレー番号と待機時間を設定します。
D1535,D1536	CH1.2REF.RLY,CH1.2REF.DYT	[CH1] 2次冷凍機の動作のための信号を出力希望するリレー番号と待機時間を設定します。
D1541,D1542	CH1.ERROR.RLY,CH1.ERROR.KPT	エラー発生時のシグナルを出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1581,D1582	CH1FIXTIMER.RLY CH1FIXTIMER.DEV	定値制御 タイマー信号の出力リレーと偏差を設定します。
D1583,D1584	CH1FIXTIMER.DLY CH1FIXTIMER.OPT	定値制御 タイマー信号の遅延時間と動作時間を設定します。
D1591,D1592	UP.DEVSEL DN.DEVSEL	立ち上/下がりエッジのシグナルの動作条件を設定します。 (動作条件 0:[TSP-NSP] ,1:[TSP-NPV])

■ [CH2] D0 リレーの設定関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1409~D1416	CH2IS9.RLY~CH2IS16.RLY	[CH2] インナーシグナルを出力希望するリレー番号を設定します。
D1425~D1432	CH2TS1.RLY~CH2TS8.RLY	[CH2] タイムシグナルを出力希望するリレー番号を設定します。
D1437~D1440	CH2ALM5.RLY~CH2ALM8.RLY	[CH2] 警報信号を出力を希望するリレー番号を設定します。
D1445~D1448	CH2SA1.RLY~CH2SA4.RLY	[CH2] セグメント警報シグナルを出力 希望するリレー番号を設定します。
D1463~D1476	CH2T8.RLY~CH2T14.DYT	[CH2] ON/ OFF信号を出力希望するリレー番号と待機時間を設定します。
D1503,D1504	CH2RUN.RLY,CH2RUN.DYT	[CH2] 運転信号を出力 希望するリレー番号と待機時間を設定します。
D1507,D1508	CH2SOPN.RLY,CH2SOPN.KPT	[CH2] センサーオープンシグナルを出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1511,D1512	CH2WAIT.RLY,CH2WAIT.KPT	[CH2] 待機信号を出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1515,D1516	CH2UP.RLY,CH2UP.DEV	[CH2] 立ち上がりエッジのシグナルを出力希望するリレー番号と偏差値を設定します。
D1519,D1520	CH2SOAK.RLY,CH2SOAK.KPT	[CH2] 維持区間信号を出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1523,D1524	CH2DOWN.RLY,CH2DOWN.DEV	[CH2] 立ち下がりエッジのシグナルを出力希望するリレー番号と偏差値を設定します。
D1527,D1528	CH2FEND.RLY,CH2FEND.KPT	[CH2] 定値運転終了時にシグナルを出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1531,D1532	CH2PTEND.RLY,CH2PTEND.KPT	[CH2] プログラム運転終了時にシグナルを出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1537,D1538	CH2.1REF.RLY,CH2.1REF.DYT	[CH2] 1次冷凍機の動作のための信号を出力希望するリレー番号と待機時間を設定します。
D1539,D1540	CH2.2REF.RLY,CH2.2REF.DYT	[CH2] 2次冷凍機の動作のための信号を出力希望するリレー番号と待機時間を設定します。
D1543,D1544	CH2.ERROR.RLY,CH2.ERROR/KPT	エラー発生時のシグナルを出力希望するリレー番号と保持時間を設定します。
D1585,D1586	CH1FIXTIMER.RLY CH1FIXTIMER.DEV	定値制御 タイマー信号の出力リレーと偏差を設定します。
D1587,D1588	CH1FIXTIMER.DLY CH1FIXTIMER.OPT	定値制御 タイマー信号の遅延時間と動作時間を設定します。
D1593,D1594	UP.DEVSEL DN.DEVSEL	立ち上/下がりエッジのシグナルの動作条件を設定します。 (動作条件 0:[TSP-NSP] ,1:[TSP-NPV])

■ [共通]D0 リレーの設定関連 D-Register

D-Reg.	記 号	内 容
D1545	UKEY.RLY	ユーザキーを使用し出力しようとしているリレーの番号を設定しします。
D1546~D1561	DI1.RLY~DI16RLY	DIシグナルのリレー番号を設定します。
D1562~D1573	USER.RLY1~USER.RLY12	手動シグナルのリレー番号を設定します
D1573	USER.RLY_ON/OFF	手動シグナルのリレーをON/ OFFします。
D1670	LOG.OUTRLY1	演算リレー1を出力しようとするリレー番号を設定します。
D1671	LOG.SRCLRYa1	演算リレー1のリレーaを設定します。
D1672	LOG.SRCLRYb1	演算リレー1のリレーbを設定します。
D1673	LOG.OPERAND1	演算リレー1の演算子を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D1678	LOG.OUTRLY3	演算リレー3を出力しようとするリレー番号を設定します。
D1679	LOG.SRCLRYa3	演算リレー3のリレーaを設定します。
D1680	LOG.SRCLRYb3	演算リレー3のリレーbを設定します。
D1681	LOG.OPERAND3	演算リレー3の演算子を設定します。

7.15 DI CONFIG

DI機能および動作設定やエラーの名前を設定します。

■ DI 機能と動作関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1601	DISP.METHOD	DI発生した場合の表示方法を選択します。 (0:文字、1:写真)
D1602	BUZ.TIME	DI発生時ブザーが鳴り響く時間を設定します。
D1603	DIDEC.TIME	物理的なDI発生時、設定した時間後にDIが入力されたことで動作します。
D1606	DI1.OP_MODE	[CH1] DI1発生時の動作方法を選択します。 (0:エラー、1:運転/停止)
D1607	DI2.OP_MODE	[CH1] DI2発生時の動作方法を選択します。 (0:エラー、1:ホールド)
D1608	DI3.OP_MODE	[CH1] DI3発生時の動作方法を選択します。 (0:エラー、1:ホールド)
D1609	DI4.OP_MODE	[CH1] DI4~DI8発生時の動作方法を選択します。 (0:エラー、1:パターンの選択)
D1612	DI9.OP_MODE	[CH2] DI9発生時の動作方法を選択します。 (0:エラー、1:運転/停止)
D1613	DI10.OP_MODE	[CH2] DI10発生時の動作方法を選択します。 (0:エラー、1:ホールド)
D1614	DI11.OP_MODE	[CH2] DI11発生時の動作方法を選択します。 (0:エラー、1:ステップ)
D1615	DI12.OP_MODE	[CH2] DI12~DI16発生時の動作方法を選択します。 (0:エラー、1:パターンの選択)
D1618,D1619	DI1.OP,DI1.DYT	OPERATIONによるDI1の動作と待機時間を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D1648,D1649	DI16.OP,DI16.DYT	OPERATIONによるDI16の動作と待機時間を設定します。
D1652	DI1.DETECT	DI1の検出方法を設定します。(0:A-接点、1:B-接点)
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D1667	DI16.DETECT	DI16の検出方法を設定します。(0:A-接点、1:B-接点)
D1701~D1712	DI1.NAME1~DI1.NAME12	DI1のエラー名を設定します。
.	.	.
.	.	.
.	.	.
D1785~D1796	DI16.NAME1~DI16.NAME12	DI16のエラー名を設定します。

7.16 INITIAL

メイン画面の表示と状態表示ランプを設定します

■ システムの初期設定関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D1901	LANGUAGE	使用言語を選択します。(0:英語、1:韓国語、2:日本語)
D1902	DISP.MODE	初期画面の表示方法を選択します。(0:文字、1:写真)
D1903	UKEY.USE	ユーザーキーを使用する有/無を選択します。 (0:未使用、1:使用)
D1906~D1918	INFORM1.NAME1 ~INFORM1.NAME13	初期画面で 情報1の名前を設定します。
.	.	.
D1932~D1944	INFORM3.NAME1 ~INFORM3.NAME13	初期画面で 情報3の名前を設定します。
D2001~D2043	CH1LAMP_IS1 ~CH1LAMP_D18	[CH1] 状態表示ランプを設定します。
D2044~D2086	CH2LAMP_IS9 ~CH2LAMP_D116	[CH2] 状態表示ランプを設定します。

7.17 プログラムパターンの設定

7.17.1 PROGRAM

PROGRAMグループは、通信でプログラムパターンを作成するためのD-Registerに設定されています。

プログラムパターンは、セグメント番号を変更して行きながら一度に一セグメントを設定する必要があります。

■ プログラムパターンの設定関連 D-Register

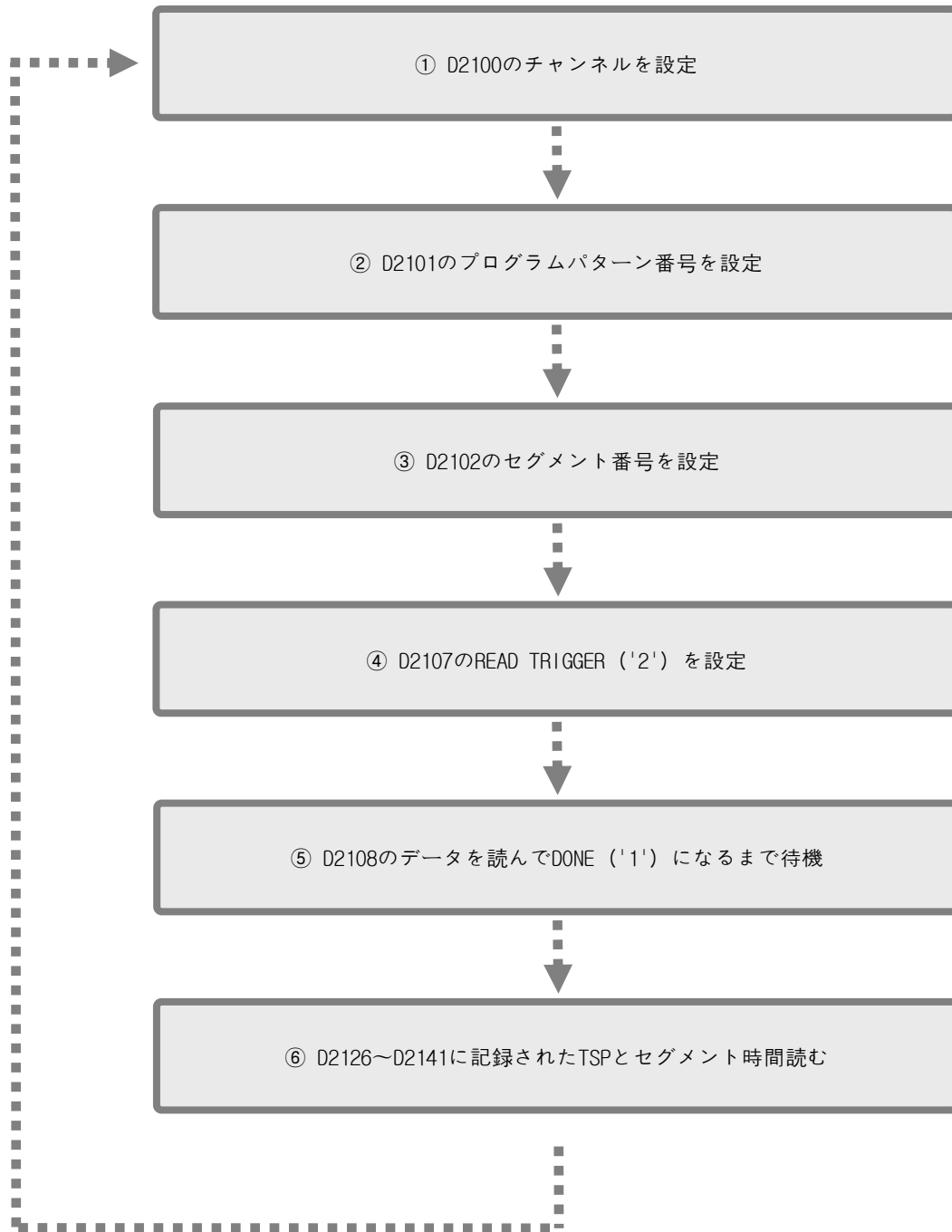
D-Reg.	記号	設定値	内容
D2100	COM_CHNO	0, 1	0 : CH1, 1 : CH2 設定
D2101	COM_PTNO	1~40	読み取りまたは書き込みしようとするプログラムパターンの番号を設定する
D2102	COM_SEGNO	0	D2145~D2167の位置に読み取りまたは書き込みを行う場合の設定
		1~99	読み取りまたは書き込みを行うセグメントの番号を設定
D2103	PTCOPY_START	-	コピーしたいパターンのSTART番号
D2104	PTCOPY_END	-	コピーしたいパターンのEND番号
D2105	PTDEL_START	-	削除したいパターンのSTART番号
D2106	PTDEL_END	-	削除したいパターンのEND番号
D2107	TRIGGER	1	INIT : D2101~D2108の内容'0'に初期化
		2	READ : D2101とD2102の設定内容に読む
		3	WRITE : D2101とD2102の設定されている内容を書き込み
		4	PT COPY : D2101のパターンをD2103~D2104に設定された領域にコピーする
		5	PT DEL : D2105~D2106に設定されたパターンを削除する
		6	PT NAME READ : D2101に設定された内容で読む
		7	PT NAME WRITE : D2101に設定された内容で書き込み
		8	ALL PT : D2101に設定されたパターンの内容をD2300以下に表示
D2108	ANSWER	0	FULL : TEMP2520にパターンやセグメントの数が超え
		1	DONE : D2107 (TRIGGER) コマンドが正常に処理
		2	PT EMPTY : そのパターンに設定された内容がありません
		3	SEG EMPTY : そのセグメントに設定された内容がありません
		4	PT RUN : そのパターンが現在のプログラム運転状態
		5	PARA ERROR : D2101~D2107の設定エラー
D2111~D2122	PATTERN_NAME1~12	-	読み取りまたは書き込みを行うパターンの名前
D2126	TSP	-	読み取りまたは書き込みする目標設定値
D2127	SEG.TIME_H	-	読み取りまたは書き込みするセグメントの設定時間 (時)
D2128	SEG.TIME_L	-	読み取りまたは書き込みするセグメントの設定時間 (分&抄)
D2129	TS1	-	読み取りまたは書き込みを行うにはタイムシグナル1
D2130	TS2	-	読み取りまたは書き込みを行うにはタイムシグナル2
D2131	TS3	-	読み取りまたは書き込みを行うにはタイムシグナル3
D2132	TS4	-	読み取りまたは書き込みを行うにはタイムシグナル4
D2133	TS5	-	読み取りまたは書き込みを行うにはタイムシグナル5
D2134	TS6	-	読み取りまたは書き込みを行うにはタイムシグナル6
D2135	TS7	-	読み取りまたは書き込みを行うにはタイムシグナル7
D2136	TS8	-	読み取りまたは書き込みを行うにはタイムシグナル8
D2137	SEGAL1	-	読み取りまたは書き込みを行うにはセグメント警報シグナル1
D2138	SEGAL2	-	読み取りまたは書き込みを行うにはセグメント警報シグナル2
D2139	SEGAL3	-	読み取りまたは書き込みを行うにはセグメント警報シグナル3
D2140	SEGAL4	-	読み取りまたは書き込みを行うにはセグメント警報シグナル4
D2141	SEG_PID	-	読み取りまたは書き込みを行うにはセグメントPID

■ パターンの繰り返しに関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D2145	START.CODE	開始条件の設定 (0:TPV, 1:SPV, 2:SSP)
D2146	CH1START.SP	[CH1] SSP 設定値
D2147	CH2START.SP	[CH2] SSP 設定値
D2150	PT.RPT	パターンの繰り返し回数 (0: 無限ループ, 1~999)
D2151	PT.EMOD	パターン終了時の動作設定 (0: 運転停止, 1:ホールド, 2: リンク運転)
D2152	CH1LINK.PT	[CH1] 接続パターンの設定 (1~40)
D2153	CH2LINK.PT	[CH2] 接続パターンの設定 (41~80)
D2156	SEG_RPT.S1	開始セグメント-1
D2157	SEG_RPT.E1	終了セグメント-1
D2158	SEG_RPT.C1	繰り返し回数 -1
D2159	SEG_RPT.S2	開始セグメント-2
D2160	SEG_RPT.E2	終了セグメント-2
D2161	SEG_RPT.C2	繰り返し回数 -2
D2162	SEG_RPT.S3	開始セグメント-3
D2163	SEG_RPT.E3	終了セグメント-3
D2164	SEG_RPT.C3	繰り返し回数 -3
D2165	SEG_RPT.S4	開始セグメント-4
D2166	SEG_RPT.E4	終了セグメント-4
D2167	SEG_RPT.C4	繰り返し回数 -4

7.17.2 プログラムパターンを読む

▶ TEMP2520に設定されたプログラムパターンを読み込むためには、次のような手順を実行すべきです。



NOTE

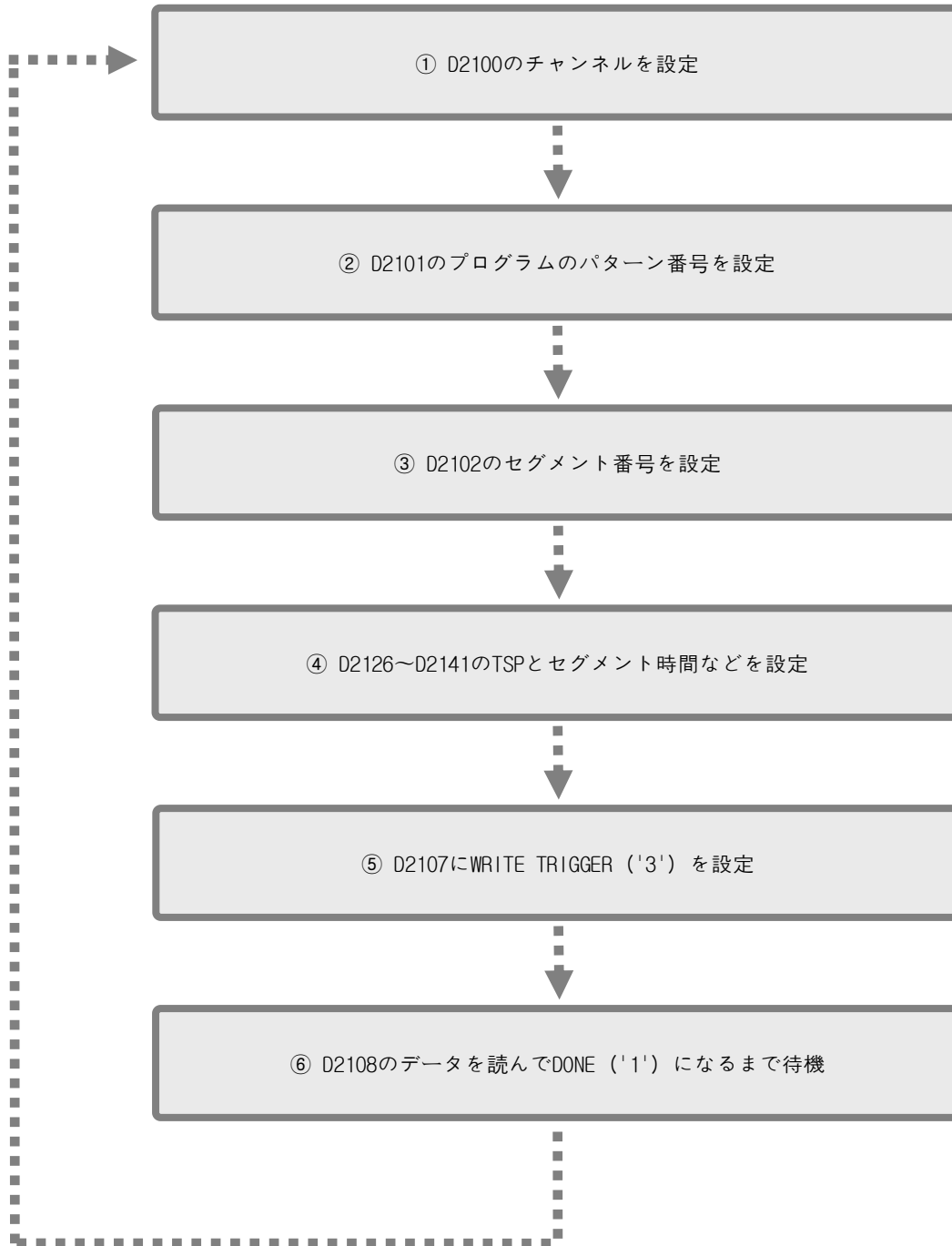
上記①～⑤の操作は、プログラムパターンに設定されたセグメントのいずれかのセグメントを読んてくることです。

複数のセグメントを読み取るには、セグメント番号を変更し、①～⑤の操作を繰り返し実行します。

上記の操作中に②でD1702を'0'に設定して実行すると、D2145～D2167の内容を読み込みます。

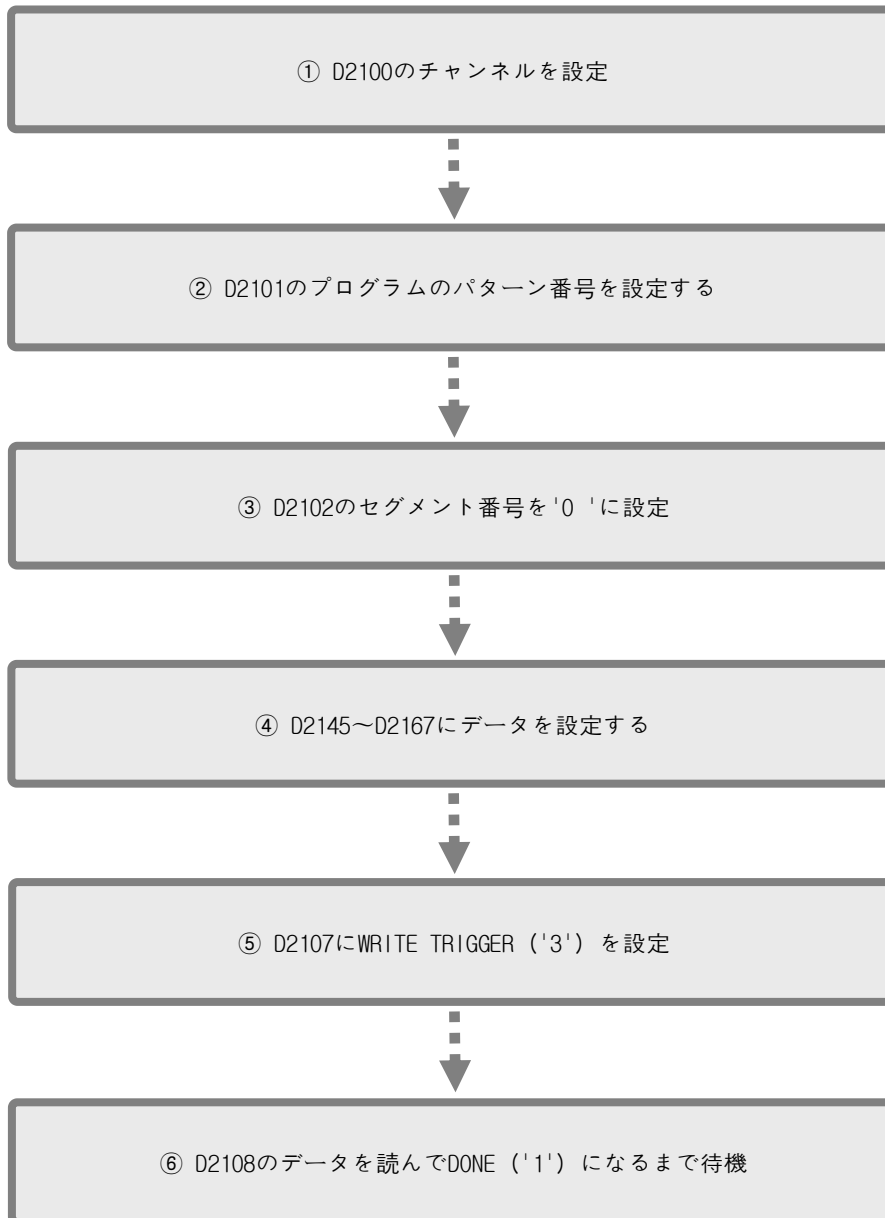
7.17.3 プログラムパターンの書き込み

▶ TEMP2520にプログラムパターンを使うためには、次のような手順を実行すべきです。



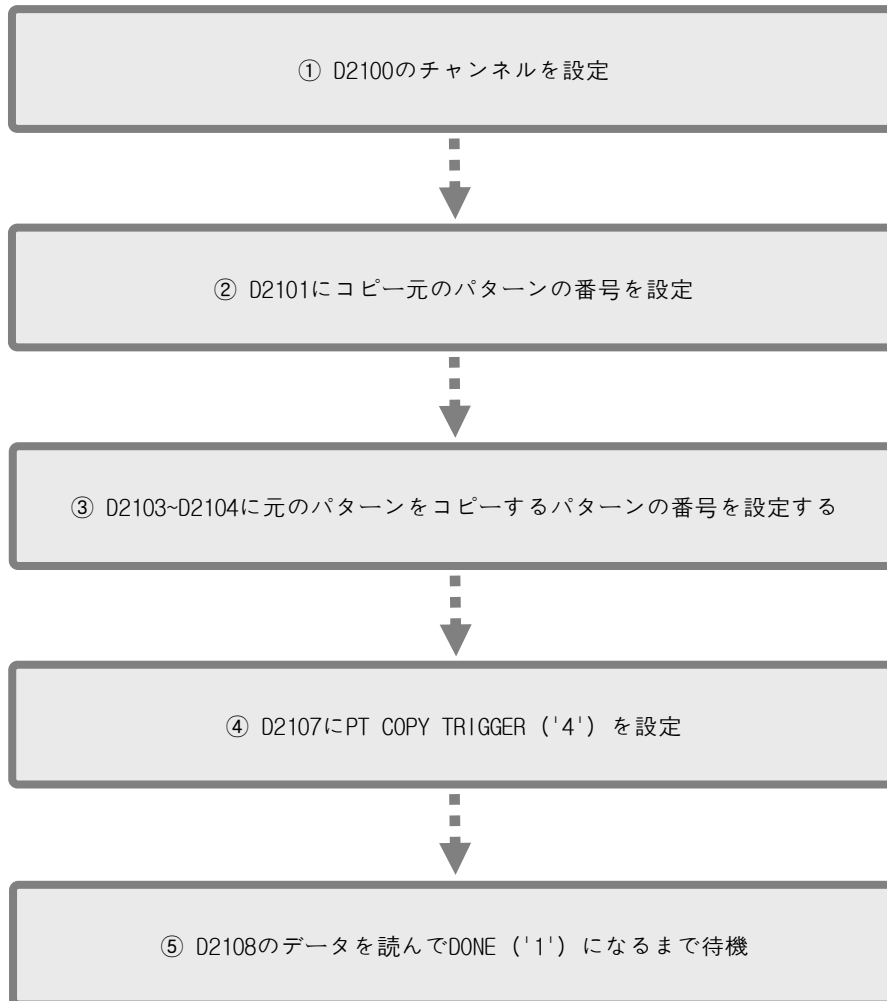
上記①～⑤の操作は、プログラムパターンのいずれかのセグメントを使うことです。
複数のセグメントを読み取るには、セグメント番号を変更し、①～⑤の操作を繰り返し実行します。

▶ プログラムの作成からD2145～D2167の内容を設定するには、次のような手順を実行すべきです。

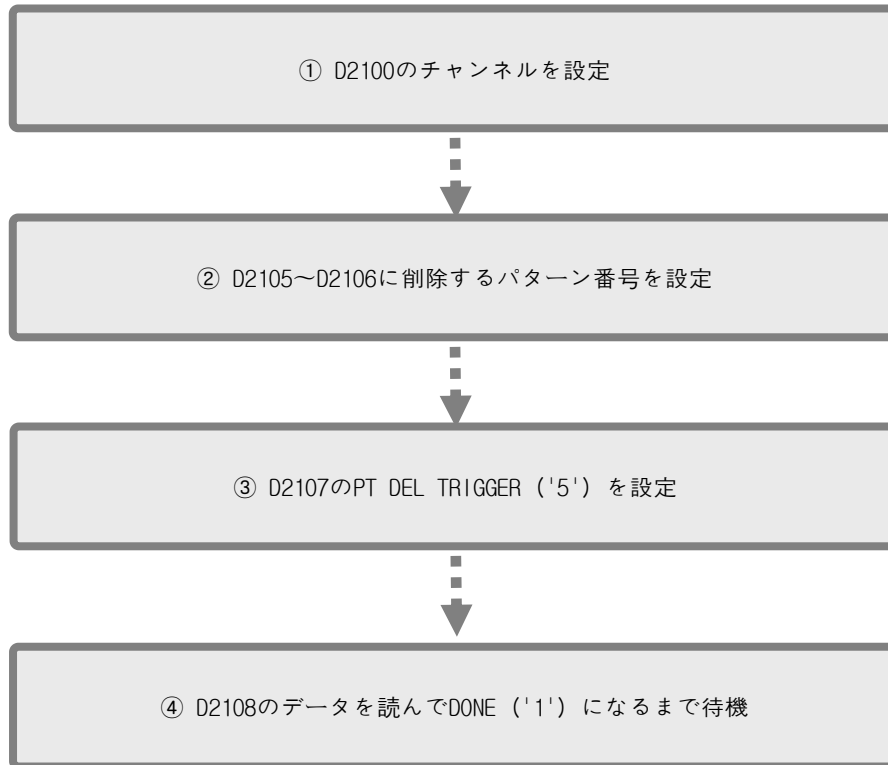


7.17.4 パターンのコピー/削除

▶ プログラムパターンのコピーをするには、次のような手順を実行すべきです。



▶ プログラムパターンの削除をするには、次のような手順を実行すべきです。



7.18 PATTERN INFO

パターン内に設定されたセグメントの情報を表示します。

■ パターン情報関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D2201	NPT1	パターン1で使用されているセグメントの数を表示します。
.	.	.
D2280	NPT80	パターン80で使用されているセグメントの数を表示します。

7.19 FILE

パターン内に設定されたファイルの情報を表示します

■ パターン情報関連 D-Register

D-Reg.	記号	内容
D2301~D2399	C.TSP1~C.TSP99	読み取られた パターン内で設定されたSPの値を表示します。
D2501~D2599	C.SRTIME_H1~C.SRTIME_H99	読み取られた パターン内で 設定された時間(時)を表示します。
D2601~D2699	C.SRTIME_L1~C.SRTIME_L99	読み取られた パターン内で 設定された時間(分&秒)を表示します。
D2701~D2799	C.TS1_1~C.TS1_99	読み取られた パターン内で 設定されたタイムシグナル1を表示します。
D2801~D2899	C.TS2_1~C.TS2_99	読み取られた パターン内で 設定されたタイムシグナル2を表示します。
D2901~D2999	C.TS3_1~C.TS3_99	読み取られた パターン内で 設定されたタイムシグナル3を表示します。
D3001~D3099	C.TS4_1~C.TS4_99	読み取られた パターン内で 設定されたタイムシグナル4を表示します。
D3101~D3199	C.TS5_1~C.TS5_99	読み取られた パターン内で 設定されたタイムシグナル5を表示します。
D3201~D3299	C.TS6_1~C.TS6_99	読み取られた パターン内で 設定されたタイムシグナル6を表示します。
D3301~D3399	C.TS7_1~C.TS7_99	読み取られた パターン内で 設定されたタイムシグナル7を表示します。
D3401~D3499	C.TS8_1~C.TS8_99	読み取られた パターン内で 設定されたタイムシグナル8を表示します。
D3501~D3599	C.SEGAL1_1~C.SEGAL1_99	読み取られた パターン内で 設定されたセグメント警報シグナル1を表示します。
D3601~D3699	C.SEGAL2_1~C.SEGAL2_99	読み取られた パターン内で 設定されたセグメント警報シグナル2を表示します。
D3701~D3799	C.SEGAL3_1~C.SEGAL3_99	読み取られた パターン内で 設定されたセグメント警報シグナル3を表示します。
D3801~D3899	C.SEGAL4_1~C.SEGAL4_99	読み取られた パターン内で 設定されたセグメント警報シグナル4を表示します。
D3901~D3999	C.SEGPID_1~C.SEGPID_99	読み取られた パターン内で 設定されたセグメントPIDを表示します。

D-Register 0000 ~ 0599

:Read Only

D-Reg.	PROCESS	FUNCTION	RESERVATION	ON/OFF SIGNAL	INNER SIGNAL	ALARM SIGNAL
	0	100	200	300	400	500
0		CH1SET.PTNO	CH1RESERVE			
1	CH1.NPV	CH2SET.PTNO	CH2RESERVE	T1.LSP	IS1.TYPE	CH1ALM.OP
2	CH2.NPV	CH1COM.OPMODE	NOW.YEAR	T1.MSP	IS1.BAND	CH2ALM.OP
3	CH1.NSP	CH2COM.OPMODE	NOW.MONTH	T1.HSP	IS1.RH	
4	CH2.NSP	CH1FIX.TSP	NOW.DAY	T1.HDV	IS1.RL	
5	CH1.MVOUT	CH2FIX.TSP	NOW.AMPM	T1.LDV	IS1.DYT	ALM1.TYPE
6	CH2.MVOUT	CH1OP.MODE	NOW.HOUR			ALM1.POINT
7	CH1.CPIDNO	CH2OP.MODE	NOW.MIN		IS2.TYPE	ALM1.H_POINT
8	CH2.CPIDNO	CH1PWR.MODE	C.YEAR	T2.LSP	IS2.BAND	ALM1.L_POINT
9		CH2PWR.MODE	C.MONTH	T2.MSP	IS2.RH	ALM1.HYS
10	CH1NOW.STS	CH1.SLOPE	C.DAY	T2.HSP	IS2.RL	ALM1.DYT
11	CH2NOW.STS	CH2.SLOPE	C.AMPM	T2.HDV	IS2.DYT	
12	CH1IS.STS	CH1.FUZZY	C.HOUR	T2.LDV		ALM2.TYPE
13	CH2IS.STS	CH2.FUZZY	C.MIN		IS3.TYPE	ALM2.POINT
14	CH1TS.STS	CH1TIME.OP	CH1R.YEAR		IS3.BAND	ALM2.H_POINT
15	CH2TS.STS	CH1TIME.OP_H	CH1R.MONTH	T3.LSP	IS3.RH	ALM2.L_POINT
16	CH1ALM.STS	CH1TIME.OP_M	CH1R.DAY	T3.MSP	IS3.RL	ALM2.HYS
17	CH2ALM.STS	CH2TIME.OP	CH1R.AMPM	T3.HSP	IS3.DYT	ALM2.DYT
18	CH1SEGALM.STS	CH2TIME.OP_H	CH1R.HOUR	T3.HDV		
19	CH2SEGALM.STS	CH2TIME.OP_M	CH1R.MIN	T3.LDV	IS4.TYPE	ALM3.TYPE
20	CH1ONOFF.STS		CH2R.YEAR		IS4.BAND	ALM3.POINT
21	CH2ONOFF.STS	KEYLOCK	CH2R.MONTH		IS4.RH	ALM3.H_POINT
22	CH1ADERR.STS	RS.SYNC	CH2R.DAY	T4.LSP	IS4.RL	ALM3.L_POINT
23	CH2ADERR.STS		CH2R.AMPM	T4.MSP	IS4.DYT	ALM3.HYS
24	CH1DOCTR.STS		CH2R.HOUR	T4.HSP		ALM3.DYT
25	CH2DOCTR.STS		CH2R.MIN	T4.HDV	IS5.TYPE	
26	CH1CTR.STS	DRAW.CYCLE		T4.LDV	IS5.BAND	ALM4.TYPE
27	CH2CTR.STS	PV.GRP_RECORD			IS5.RH	ALM4.POINT
28	D0.STS1				IS5.RL	ALM4.H_POINT
29	D0.STS2			T5.LSP	IS5.DYT	ALM4.L_POINT
30	D1.DATA	REC.OP		T5.MSP		ALM4.HYS
31	SYS.STS	REC.CYCLE		T5.HSP	IS6.TYPE	ALM4.DYT
32		BACK.ITEM		T5.HDV	IS6.BAND	
33		BACK.DIR		T5.LDV	IS6.RH	ALM5.TYPE
34	CH1RUN.TIME_H				IS6.RL	ALM5.POINT
35	CH1RUN.TIME_M				IS6.DYT	ALM5.H_POINT
36	CH1RUN.TIME_S	CH1.AT		T6.LSP		ALM5.L_POINT
37	CH2RUN.TIME_H	CH2.AT		T6.MSP	IS7.TYPE	ALM5.HYS
38	CH2RUN.TIME_M			T6.HSP	IS7.BAND	ALM5.DYT
39	CH2RUN.TIME_S			T6.HDV	IS7.RH	
40	CH1RUN.PTNO	CH1WAIT.USE		T6.LDV	IS7.RL	ALM6.TYPE
41	CH1RUN.SEGNO	CH2WAIT.USE			IS7.DYT	ALM6.POINT
42	CH2RUN.PTNO	CH1WAIT_ZONE				ALM6.H_POINT
43	CH2RUN.SEGNO	CH2WAIT_ZONE		T8.LSP	IS8.TYPE	ALM6.L_POINT
44	CH1NOW.PT.RPT	CH1WAIT_TIME		T8.MSP	IS8.BAND	ALM6.HYS
45	CH1TOTAL.PT.RPT	CH2WAIT_TIME		T8.HSP	IS8.RH	ALM6.DYT
46	CH2NOW.PT.RPT	CH1WAIT.METHOD		T8.HDV	IS8.RL	
47	CH2TOTAL.PT.RPT	CH2WAIT.METHOD		T8.LDV	IS8.DYT	ALM7.TYPE
48	CH1NOW.SEG.RPT					ALM7.POINT
49	CH1TOTAL.SEG.RPT				IS9.TYPE	ALM7.H_POINT

D-Reg.	PROCESS	FUNCTION	RESERVATION	ON/OFF SIGNAL	INNER SIGNAL	ALARM SIGNAL
	0	100	200	300	400	500
50	CH2NOW.SEG.RPT	PV.FONT		T9.LSP	IS9.BAND	ALM7.L_POINT
51	CH2TOTAL.SEG.RPT	BUZ.ONOFF		T9.MSP	IS9.RH	ALM7.HYS
52	CH1NOW.SEGTM_H	LIGHT.OFFTM		T9.HSP	IS9.RL	ALM7.DYT
53	CH1NOW.SEGTM_L	CH.ROT.TIME		T9.HDV	IS9.DYT	
54	CH1TOTAL.SEGTM_H			T9.LDV		ALM8.TYPE
55	CH1TOTAL.SEGTM_L				IS10.TYPE	ALM8.POINT
56	CH2NOW.SEGTM_H				IS10.BAND	ALM8.H_POINT
57	CH2NOW.SEGTM_L			T10.LSP	IS10.RH	ALM8.L_POINT
58	CH2TOTAL.SEGTM_H			T10.MSP	IS10.RL	ALM8.HYS
59	CH2TOTAL.SEGTM_L			T10.HSP	IS10.DYT	ALM8.DYT
60	CH1PREV.TSP	UTAG_USING	CH_TIME_VALID	T10.HDV		
61	CH1NOW.TSP	CH1UTAG.NAME1	CH1_START_YEAR	T10.LDV	IS11.TYPE	
62	CH2PREV.TSP	CH1UTAG.NAME2	CH1_START_MON		IS11.BAND	
63	CH2NOW.TSP	CH1UTAG.NAME3	CH1_START_DAY		IS11.RH	
64		CH2UTAG.NAME1	CH1_START_HOUR	T11.LSP	IS11.RL	
65	USED PATTERN	CH2UTAG.NAME2	CH1_START_MIN	T11.MSP	IS11.DYT	
66	USED SEGMENT	CH2UTAG.NAME3	CH1_END_YEAR	T11.HSP		
67			CH1_END_MON	T11.HDV	IS12.TYPE	
68			CH1_END_DAY	T11.LDV	IS12.BAND	
69			CH1_END_HOUR		IS12.RH	
70			CH1_END_MIN		IS12.RL	
71	CH1.HMVOUT		CH2TIME_VALID	T12.LSP	IS12.DYT	
72	CH1.CMVOUT		CH2_START_YEAR	T12.MSP		
73	CH2.HMVOUT		CH2_START_MON	T12.HSP	IS13.TYPE	
74	CH2.CMVOUT		CH2_START_DAY	T12.HDV	IS13.BAND	
75			CH2_START_HOUR	T12.LDV	IS13.RH	
76			CH2_START_MIN		IS13.RL	
77			CH2_END_YEAR		IS13.DYT	
78			CH2_END_MON	T13.LSP		
79			CH2_END_DAY	T13.MSP	IS14.TYPE	
80			CH2_END_HOUR	T13.HSP	IS14.BAND	
81			CH2_END_MIN	T13.HDV	IS14.RH	
82				T13.LDV	IS14.RL	
83					IS14.DYT	
84						
85					IS15.TYPE	
86					IS15.BAND	
87					IS15.RH	
88					IS15.RL	
89					IS15.DYT	
90						
91					IS16.TYPE	
92					IS16.BAND	
93					IS16.RH	
94					IS16.RL	
95					IS16.DYT	
96						
97						
98						
99						

D-Register 0600 ~ 1199

D-Reg.	SEG ALARM SIGNAL	TIME SIGNAL	COMMUNICATION	PICTURE	PID1	PID2
	600	700	800	900	1000	1100
0						
1	CH1SA1.TYPE	TS2DYTEM_H	COM2.PROTOCOL	VIEW.ROTATE	CH1.RP1	CH1.1_HP
2	CH1SA1.POINT	TS2DYTEM_L	COM2.BPS	R.ST_TIME	CH1.RP2	CH1.1_HI
3	CH1SA1.H_POINT	TS2KPTM_H	COM2.PARITY	R.INT_TIME	CH1.RP3	CH1.1_HD
4	CH1SA1.L_POINT	TS2KPTM_L	COM2.STOP_BIT		CH1.RP4	CH1.1_HOH
5	CH1SA1.HYS	TS3DYTEM_H	COM2.DATA_LENGTH		CH2.RP1	CH1.1_OL
6	CH1SA1.DYT	TS3DYTEM_L	COM2.ADDRESS		CH2.RP2	CH1.1_MR
7	CH1SA2.TYPE	TS3KPTM_H	COM2.RESPONSE		CH2.RP3	CH1.1_HHYS
8	CH1SA2.POINT	TS3KPTM_L	COM4.BPS		CH2.RP4	CH1.1_LHYS
9	CH1SA2.H_POINT	TS4DYTEM_H	SYNC.MST		CH1.RHYS	CH1.2_HP
10	CH1SA2.L_POINT	TS4DYTEM_L			CH1.RDEV	CH1.2_HI
11	CH1SA2.HYS	TS4KPTM_H			CH2.RHYS	CH1.2_HD
12	CH1SA2.DYT	TS4KPTM_L			CH2.RDEV	CH1.2_HOH
13	CH1SA3.TYPE	TS5DYTEM_H			CH1.CMOD	CH1.2_OL
14	CH1SA3.POINT	TS5DYTEM_L			CH2.CMOD	CH1.2_MR
15	CH1SA3.H_POINT	TS5KPTM_H			CH1AT.POINT	CH1.2_HHYS
16	CH1SA3.L_POINT	TS5KPTM_L			CH2AT.POINT	CH1.2_LHYS
17	CH1SA3.HYS	TS6DYTEM_H			CH1AT.DISPLAY	CH1.3_HP
18	CH1SA3.DYT	TS6DYTEM_L			CH2AT.DISPLAY	CH1.3_HI
19	CH1SA4.TYPE	TS6KPTM_H			CH1PID.OPMODE	CH1.3_HD
20	CH1SA4.POINT	TS6KPTM_L			CH2PID.OPMODE	CH1.3_HOH
21	CH1SA4.H_POINT	TS7DYTEM_H			CH1PID.APP	CH1.3_OL
22	CH1SA4.L_POINT	TS7DYTEM_L			CH2PID.APP	CH1.3_MR
23	CH1SA4.HYS	TS7KPTM_H				CH1.3_HHYS
24	CH1SA4.DYT	TS7KPTM_L				CH1.3_LHYS
25	CH1SA5.TYPE	TS8DYTEM_H			1.CH1_CP	CH1.4_HP
26	CH1SA5.POINT	TS8DYTEM_L			1.CH1_CI	CH1.4_HI
27	CH1SA5.H_POINT	TS8KPTM_H			1.CH1_CD	CH1.4_HD
28	CH1SA5.L_POINT	TS8KPTM_L			2.CH1_CP	CH1.4_HOH
29	CH1SA5.HYS	TS9DYTEM_H			2.CH1_CI	CH1.4_OL
30	CH1SA5.DYT	TS9DYTEM_L			2.CH1_CD	CH1.4_MR
31	CH1SA6.TYPE	TS9KPTM_H			3.CH1_CP	CH1.4_HHYS
32	CH1SA6.POINT	TS9KPTM_L			3.CH1_CI	CH1.4_LHYS
33	CH1SA6.H_POINT	TS10DYTEM_H			3.CH1_CD	CH1.5_HP
34	CH1SA6.L_POINT	TS10DYTEM_L			4.CH1_CP	CH1.5_HI
35	CH1SA6.HYS	TS10KPTM_H			4.CH1_CI	CH1.5_HD
36	CH1SA6.DYT	TS10KPTM_L			4.CH1_CD	CH1.5_HOH
37	CH1SA7.TYPE	TS11DYTEM_H			5.CH1_CP	CH1.5_OL
38	CH1SA7.POINT	TS11DYTEM_L			5.CH1_CI	CH1.5_MR
39	CH1SA7.H_POINT	TS11KPTM_H			5.CH1_CD	CH1.5_HHYS
40	CH1SA7.L_POINT	TS11KPTM_L			6.CH1_CP	CH1.5_LHYS
41	CH1SA7.HYS	TS12DYTEM_H			6.CH1_CI	CH1.6_HP
42	CH1SA7.DYT	TS12DYTEM_L			6.CH1_CD	CH1.6_HI
43	CH1SA8.TYPE	TS12KPTM_H				CH1.6_HD
44	CH1SA8.POINT	TS12KPTM_L				CH1.6_HOH
45	CH1SA8.H_POINT	TS13DYTEM_H			1.CH2_CP	CH1.6_OL
46	CH1SA8.L_POINT	TS13DYTEM_L			1.CH2_CI	CH1.6_MR
47	CH1SA8.HYS	TS13KPTM_H			1.CH2_CD	CH1.6_HHYS
48	CH1SA8.DYT	TS13KPTM_L			2.CH2_CP	CH1.6_LHYS
49		TS14DYTEM_H			2.CH2_CI	

D-Reg.	SEG ALARM SIGNAL	TIME SIGNAL	COMMUNICATION	PICTURE	PID1	PID2
	600	700	800	900	1000	1100
50		TS14DYTM_L			2.CH2_CD	
51	CH2SA1.TYPE	TS14KPTM_H			3.CH2_CP	CH2.1_HP
52	CH2SA1.P01NT	TS14KPTM_L			3.CH2_C1	CH2.1_H1
53	CH2SA1.H_P01NT	TS15DYTM_H			3.CH2_CD	CH2.1_HD
54	CH2SA1.L_P01NT	TS15DYTM_L			4.CH2_CP	CH2.1_HOH
55	CH2SA1.HYS	TS15KPTM_H			4.CH2_C1	CH2.1_OL
56	CH2SA1.DYT	TS15KPTM_L			4.CH2_CD	CH2.1_MR
57	CH2SA2.TYPE	TS16DYTM_H			5.CH2_CP	CH2.1_HHYS
58	CH2SA2.P01NT	TS16DYTM_L			5.CH2_C1	CH2.1_LHYS
59	CH2SA2.H_P01NT	TS16KPTM_H			5.CH2_CD	CH2.2_HP
60	CH2SA2.L_P01NT	TS16KPTM_L			6.CH2_CP	CH2.2_H1
61	CH2SA2.HYS	TS17DYTM_H			6.CH2_C1	CH2.2_HD
62	CH2SA2.DYT	TS17DYTM_L			6.CH2_CD	CH2.2_HOH
63	CH2SA3.TYPE	TS17KPTM_H				CH2.2_OL
64	CH2SA3.P01NT	TS17KPTM_L				CH2.2_MR
65	CH2SA3.H_P01NT	TS18DYTM_H			1.CH1DB	CH2.2_HHYS
66	CH2SA3.L_P01NT	TS18DYTM_L			2.CH1DB	CH2.2_LHYS
67	CH2SA3.HYS	TS18KPTM_H			3.CH1DB	CH2.3_HP
68	CH2SA3.DYT	TS18KPTM_L			4.CH1DB	CH2.3_H1
69	CH2SA4.TYPE	TS19DYTM_H			5.CH1DB	CH2.3_HD
70	CH2SA4.P01NT	TS19DYTM_L			6.CH1DB	CH2.3_HOH
71	CH2SA4.H_P01NT	TS19KPTM_H			1.CH2DB	CH2.3_OL
72	CH2SA4.L_P01NT	TS19KPTM_L			2.CH2DB	CH2.3_MR
73	CH2SA4.HYS	TS20DYTM_H			3.CH2DB	CH2.3_HHYS
74	CH2SA4.DYT	TS20DYTM_L			4.CH2DB	CH2.3_LHYS
75	CH2SA5.TYPE	TS20KPTM_H			5.CH2DB	CH2.4_HP
76	CH2SA5.P01NT	TS20KPTM_L			6.CH2DB	CH2.4_H1
77	CH2SA5.H_P01NT					CH2.4_HD
78	CH2SA5.L_P01NT					CH2.4_HOH
79	CH2SA5.HYS				CH1HCHYS	CH2.4_OL
80	CH2SA5.DYT				CH2HCHYS	CH2.4_MR
81	CH2SA6.TYPE					CH2.4_HHYS
82	CH2SA6.P01NT				1.CH1_C0H	CH2.4_LHYS
83	CH2SA6.H_P01NT				2.CH1_C0H	CH2.5_HP
84	CH2SA6.L_P01NT				3.CH1_C0H	CH2.5_H1
85	CH2SA6.HYS				4.CH1_C0H	CH2.5_HD
86	CH2SA6.DYT				5.CH1_C0H	CH2.5_HOH
87	CH2SA7.TYPE				6.CH1_C0H	CH2.5_OL
88	CH2SA7.P01NT				1.CH2_C0H	CH2.5_MR
89	CH2SA7.H_P01NT				2.CH2_C0H	CH2.5_HHYS
90	CH2SA7.L_P01NT				3.CH2_C0H	CH2.5_LHYS
91	CH2SA7.HYS				4.CH2_C0H	CH2.6_HP
92	CH2SA7.DYT				5.CH2_C0H	CH2.6_H1
93	CH2SA8.TYPE				6.CH2_C0H	CH2.6_HD
94	CH2SA8.P01NT					CH2.6_HOH
95	CH2SA8.H_P01NT					CH2.6_OL
96	CH2SA8.L_P01NT					CH2.6_MR
97	CH2SA8.HYS					CH2.6_HHYS
98	CH2SA8.DYT					CH2.6_LHYS
99						

D-Register 1200 ~ 1799

D-Reg.	INPUT	OUTPUT	DO CONFIG1	DO CONFIG2	DI CONFIG1	DI CONFIG2
	1200	1300	1400	1500	1600	1700
0						
1	CH1.SENGP	SSR1.OUT	CH1IS1.RLY	CH1RUN.RLY	DISP.METHOD	DI1.NAME1
2	CH1.SENTP	SSR2.OUT	CH1IS2.RLY	CH1RUN.DYT	BUZ.TIME	DI1.NAME2
3	CH1.UNIT	SCR1.OUT	CH1IS3.RLY	CH2RUN.RLY	DIDET.TIME	DI1.NAME3
4	CH1.DP	SCR2.OUT	CH1IS4.RLY	CH2RUN.DYT		DI1.NAME4
5	CH1.TCSL		CH1IS5.RLY	CH1SOPN.RLY		DI1.NAME5
6	CH1.SOPN.SEL		CH1IS6.RLY	CH1SOPN.KPT	DI1.OP_MODE	DI1.NAME6
7	CH1.INRH		CH1IS7.RLY	CH2SOPN.RLY	DI2.OP_MODE	DI1.NAME7
8	CH1.INRL		CH1IS8.RLY	CH2SOPN.KPT	DI3.OP_MODE	DI1.NAME8
9	CH1.BIAS	CH1.DIR	CH2IS9.RLY	CH1WAIT.RLY	DI4.OP_MODE	DI1.NAME9
10	CH1.INFL	CH2.DIR	CH2IS10.RLY	CH1WAIT.KPT		DI1.NAME10
11		CH1.ARW	CH2IS11.RLY	CH2WAIT.RLY		DI1.NAME11
12	CH1.INSH	CH2.ARW	CH2IS12.RLY	CH2WAIT.KPT	DI9.OP_MODE	DI1.NAME12
13	CH1.INSL	CH1.UOPR	CH2IS13.RLY	CH1UP.RLY	DI10.OP_MODE	DI2.NAME1
14		CH1.DNOPR	CH2IS14.RLY	CH1UP.DEV	DI11.OP_MODE	DI2.NAME2
15		CH2.UOPR	CH2IS15.RLY	CH2UP.RLY	DI12.OP_MODE	DI2.NAME3
16	CH2.SENGP	CH2.DNOPR	CH2IS16.RLY	CH2UP.DEV		DI2.NAME4
17	CH2.SENTP	CH1.HCT	CH1TS1.RLY	CH1SOAK.RLY		DI2.NAME5
18	CH2.UNIT	CH2.HCT	CH1TS2.RLY	CH1SOAK.KPT	DI1.OP	DI2.NAME6
19	CH2.DP	CH1.HPO	CH1TS3.RLY	CH2SOAK.RLY	DI1.DVT	DI2.NAME7
20	CH2.TCSL	CH2.HPO	CH1TS4.RLY	CH2SOAK.KPT	DI2.OP	DI2.NAME8
21	CH2.SOPN.SEL	CH1.HATG	CH1TS5.RLY	CH1DOWN.RLY	DI2.DVT	DI2.NAME9
22	CH2.INRH	CH2.HATG	CH1TS6.RLY	CH1DOWN.DEV	DI3.OP	DI2.NAME10
23	CH2.INRL		CH1TS7.RLY	CH2DOWN.RLY	DI3.DVT	DI2.NAME11
24	CH2.BIAS		CH1TS8.RLY	CH2DOWN.DEV	DI4.OP	DI2.NAME12
25	CH2.INFL	CH1.RETT	CH2TS1.RLY	CH1FEND.RLY	DI4.DVT	DI3.NAME1
26		CH2.RETT	CH2TS2.RLY	CH1FEND.KPT	DI5.OP	DI3.NAME2
27	CH2.INSH	CH1.RETH	CH2TS3.RLY	CH2FEND.RLY	DI5.DVT	DI3.NAME3
28	CH2.INSL	CH1.RETL	CH2TS4.RLY	CH2FEND.KPT	DI6.OP	DI3.NAME4
29		CH2.RETH	CH2TS5.RLY	CH1PTEND.RLY	DI6.DVT	DI3.NAME5
30		CH2.RETL	CH2TS6.RLY	CH1PTEND.KPT	DI7.OP	DI3.NAME6
31	CH1.BP1.DDV		CH2TS7.RLY	CH2PTEND.RLY	DI7.DVT	DI3.NAME7
32	CH1.BP2.DDV		CH2TS8.RLY	CH2PTEND.KPT	DI8.OP	DI3.NAME8
33	CH1.BP3.DDV		CH1ALM1.RLY	CH1.1REF.RLY	DI8.DVT	DI3.NAME9
34	CH1.BP4.DDV	CH1.CCT	CH1ALM2.RLY	CH1.1REF.DYT	DI9.OP	DI3.NAME10
35	CH1.BP5.DDV	CH2.CCT	CH1ALM3.RLY	CH1.2REF.RLY	DI9.DVT	DI3.NAME11
36	CH1.BP6.DDV	CH1.CPO	CH1ALM4.RLY	CH1.2REF.DYT	DI10.OP	DI3.NAME12
37	CH1.BP7.DDV	CH2.CPO	CH2ALM5.RLY	CH2.1REF.RLY	DI10.DVT	DI4.NAME1
38	CH1.BP8.DDV	CH1.CATG	CH2ALM6.RLY	CH2.1REF.DYT	DI11.OP	DI4.NAME2
39	CH1.BP1.DPV	CH2.CATG	CH2ALM7.RLY	CH2.2REF.RLY	DI11.DVT	DI4.NAME3
40	CH1.BP2.DPV		CH2ALM8.RLY	CH2.2REF.DYT	DI12.OP	DI4.NAME4
41	CH1.BP3.DPV	OUT1.MODE	CH1SA1.RLY	CH1.ERROR.RLY	DI12.DVT	DI4.NAME5
42	CH1.BP4.DPV	OUT2.MODE	CH1SA2.RLY	CH1.ERROR.KPT	DI13.OP	DI4.NAME6
43	CH1.BP5.DPV	OUT3.MODE	CH1SA3.RLY	CH2.ERROR.RLY	DI13.DVT	DI4.NAME7
44	CH1.BP6.DPV	OUT4.MODE	CH1SA4.RLY	CH2.ERROR.KPT	DI14.OP	DI4.NAME8
45	CH1.BP7.DPV		CH2SA1.RLY	UKEY.RLY	DI14.DVT	DI4.NAME9
46	CH1.BP8.DPV		CH2SA2.RLY	DI1.RLY	DI15.OP	DI4.NAME10
47			CH2SA3.RLY	DI2.RLY	DI15.DVT	DI4.NAME11
48			CH2SA4.RLY	DI3.RLY	DI16.OP	DI4.NAME12
49	CH2.BP1.DDV		CH1T1.RLY	DI4.RLY	DI16.DVT	DI5.NAME1

D-Reg.	INPUT	OUTPUT	DO CONFIG1	DO CONFIG2	DI CONFIG1	DI CONFIG2
	1200	1300	1400	1500	1600	1700
50	CH2.BP2.DDV		CH1T1.DYT	D15.RLY		D15.NAME2
51	CH2.BP3.DDV		CH1T2.RLY	D16.RLY		D15.NAME3
52	CH2.BP4.DDV		CH1T2.DYT	D17.RLY	D11.DETECT	D15.NAME4
53	CH2.BP5.DDV		CH1T3.RLY	D18.RLY	D12.DETECT	D15.NAME5
54	CH2.BP6.DDV		CH1T3.DYT	D19.RLY	D13.DETECT	D15.NAME6
55	CH2.BP7.DDV		CH1T4.RLY	D110.RLY	D14.DETECT	D15.NAME7
56	CH2.BP8.DDV		CH1T4.DYT	D111.RLY	D15.DETECT	D15.NAME8
57	CH2.BP1.DPV		CH1T5.RLY	D112.RLY	D16.DETECT	D15.NAME9
58	CH2.BP2.DPV		CH1T5.DYT	D113.RLY	D17.DETECT	D15.NAME10
59	CH2.BP3.DPV		CH1T6.RLY	D114.RLY	D18.DETECT	D15.NAME11
60	CH2.BP4.DPV		CH1T6.DYT	D115.RLY	D19.DETECT	D15.NAME12
61	CH2.BP5.DPV		CH1T7.RLY	D116.RLY	D110.DETECT	D16.NAME1
62	CH2.BP6.DPV		CH1T7.DYT	USER.RLY1	D111.DETECT	D16.NAME2
63	CH2.BP7.DPV		CH2T8.RLY	USER.RLY2	D112.DETECT	D16.NAME3
64	CH2.BP8.DPV		CH2T8.DYT	USER.RLY3	D113.DETECT	D16.NAME4
65			CH2T9.RLY	USER.RLY4	D114.DETECT	D16.NAME5
66			CH2T9.DYT	USER.RLY5	D115.DETECT	D16.NAME6
67			CH2T10.RLY	USER.RLY6	D116.DETECT	D16.NAME7
68			CH2T10.DYT	USER.RLY7		D16.NAME8
69			CH2T11.RLY	USER.RLY8		D16.NAME9
70	CH1UNITNAME1		CH2T11.DYT	USER.RLY9	LOG.OUTRLY1	D16.NAME10
71	CH1UNITNAME2		CH2T12.RLY	USER.RLY10	LOG.SRCRLYa1	D16.NAME11
72	CH2UNITNAME1		CH2T12.DYT	USER.RLY11	LOG.SRCRLYb1	D16.NAME12
73	CH2UNITNAME2		CH2T13.RLY	USER.RLY12	LOG.OPERAND1	D17.NAME1
74			CH2T13.DYT	USER.RLY_ON/OFF	LOG.OUTRLY2	D17.NAME2
75			CH2T14.RLY	CH1FEND.DLY	LOG.SRCRLYa2	D17.NAME3
76			CH2T14.DYT	CH1PEND.DLY	LOG.SRCRLYb2	D17.NAME4
77				CH2FEND.DLY	LOG.OPERAND2	D17.NAME5
78				CH2PEND.DLY	LOG.OUTRLY3	D17.NAME6
79					LOG.SRCRLYa3	D17.NAME7
80					LOG.SRCRLYb3	D17.NAME8
81				CH1FXTIMER.RLY	LOG.OPERAND3	D17.NAME9
82				CH1FXTIMER.DEV		D17.NAME10
83				CH1FXTIMER.DLY		D17.NAME11
84				CH1FXTIMER.OPT		D17.NAME12
85				CH2FXTIMER.RLY		D18.NAME1
86				CH2FXTIMER.DEV		D18.NAME2
87				CH2FXTIMER.DLY		D18.NAME3
88				CH2FXTIMER.OPT		D18.NAME4
89						D18.NAME5
90						D18.NAME6
91				CH1UP.DEVSEL		D18.NAME7
92				CH1DN.DEVSEL		D18.NAME8
93				CH2UP.DEVSEL		D18.NAME9
94				CH2DN.DEVSEL		D18.NAME10
95						D18.NAME11
96						D18.NAME12
97						
98						
99						

D-Register 1800 ~ 2399

D-Reg.	DI CONFIG3	INITIAL1	INITIAL2	PROGRAM	PATTERN INFO	FILE1
	1800	1900	2000	2100	2200	2300
0				COM_CHNO		
1	D19.NAME1	LANGUAGE	CH1LAMP_IS1	COM_PTNO	NPT1	C.TSP1
2	D19.NAME2	DISP.MODE	CH1LAMP_IS2	COM_SEGNO	NPT2	C.TSP2
3	D19.NAME3	UKEY.USE	CH1LAMP_IS3	PTCOPY_START	NPT3	C.TSP3
4	D19.NAME4		CH1LAMP_IS4	PTCOPY_END	NPT4	C.TSP4
5	D19.NAME5		CH1LAMP_IS5	PTDEL_START	NPT5	C.TSP5
6	D19.NAME6	INFORM1.NAME1	CH1LAMP_IS6	PTDEL_END	NPT6	C.TSP6
7	D19.NAME7	INFORM1.NAME2	CH1LAMP_IS7	TRIGGER	NPT7	C.TSP7
8	D19.NAME8	INFORM1.NAME3	CH1LAMP_IS8	ANSWER	NPT8	C.TSP8
9	D19.NAME9	INFORM1.NAME4	CH1LAMP_TS1		NPT9	C.TSP9
10	D19.NAME10	INFORM1.NAME5	CH1LAMP_TS2		NPT10	C.TSP10
11	D19.NAME11	INFORM1.NAME6	CH1LAMP_TS3	PATTERN_NAME1	NPT11	C.TSP11
12	D19.NAME12	INFORM1.NAME7	CH1LAMP_TS4	PATTERN_NAME2	NPT12	C.TSP12
13	D110.NAME1	INFORM1.NAME8	CH1LAMP_TS5	PATTERN_NAME3	NPT13	C.TSP13
14	D110.NAME2	INFORM1.NAME9	CH1LAMP_TS6	PATTERN_NAME4	NPT14	C.TSP14
15	D110.NAME3	INFORM1.NAME10	CH1LAMP_TS7	PATTERN_NAME5	NPT15	C.TSP15
16	D110.NAME4	INFORM1.NAME11	CH1LAMP_TS8	PATTERN_NAME6	NPT16	C.TSP16
17	D110.NAME5	INFORM1.NAME12	CH1LAMP_AL1	PATTERN_NAME7	NPT17	C.TSP17
18	D110.NAME6	INFORM1.NAME13	CH1LAMP_AL2	PATTERN_NAME8	NPT18	C.TSP18
19	D110.NAME7	INFORM2.NAME1	CH1LAMP_AL3	PATTERN_NAME9	NPT19	C.TSP19
20	D110.NAME8	INFORM2.NAME2	CH1LAMP_AL4	PATTERN_NAME10	NPT20	C.TSP20
21	D110.NAME9	INFORM2.NAME3	CH1LAMP_SAL1	PATTERN_NAME11	NPT21	C.TSP21
22	D110.NAME10	INFORM2.NAME4	CH1LAMP_SAL2	PATTERN_NAME12	NPT22	C.TSP22
23	D110.NAME11	INFORM2.NAME5	CH1LAMP_SAL3		NPT23	C.TSP23
24	D110.NAME12	INFORM2.NAME6	CH1LAMP_SAL4		NPT24	C.TSP24
25	D111.NAME1	INFORM2.NAME7	CH1LAMP_T1		NPT25	C.TSP25
26	D111.NAME2	INFORM2.NAME8	CH1LAMP_T2	TSP	NPT26	C.TSP26
27	D111.NAME3	INFORM2.NAME9	CH1LAMP_T3	SEG.TIME_H	NPT27	C.TSP27
28	D111.NAME4	INFORM2.NAME10	CH1LAMP_T4	SEG.TIME_L	NPT28	C.TSP28
29	D111.NAME5	INFORM2.NAME11	CH1LAMP_T5	TS1	NPT29	C.TSP29
30	D111.NAME6	INFORM2.NAME12	CH1LAMP_T6	TS2	NPT30	C.TSP30
31	D111.NAME7	INFORM2.NAME13	CH1LAMP_T7	TS3	NPT31	C.TSP31
32	D111.NAME8	INFORM3.NAME1	CH1LAMP_RUN	TS4	NPT32	C.TSP32
33	D111.NAME9	INFORM3.NAME2	CH1LAMP_1REF	TS5	NPT33	C.TSP33
34	D111.NAME10	INFORM3.NAME3	CH1LAMP_2REF	TS6	NPT34	C.TSP34
35	D111.NAME11	INFORM3.NAME4	CH1LAMP_SD	TS7	NPT35	C.TSP35
36	D111.NAME12	INFORM3.NAME5	CH1LAMP_D11	TS8	NPT36	C.TSP36
37	D112.NAME1	INFORM3.NAME6	CH1LAMP_D12	SEGAL1	NPT37	C.TSP37
38	D112.NAME2	INFORM3.NAME7	CH1LAMP_D13	SEGAL2	NPT38	C.TSP38
39	D112.NAME3	INFORM3.NAME8	CH1LAMP_D14	SEGAL3	NPT39	C.TSP39
40	D112.NAME4	INFORM3.NAME9	CH1LAMP_D15	SEGAL4	NPT40	C.TSP40
41	D112.NAME5	INFORM3.NAME10	CH1LAMP_D16	SEG_PID	NPT41	C.TSP41
42	D112.NAME6	INFORM3.NAME11	CH1LAMP_D17		NPT42	C.TSP42
43	D112.NAME7	INFORM3.NAME12	CH1LAMP_D18		NPT43	C.TSP43
44	D112.NAME8	INFORM3.NAME13	CH2LAMP_IS9		NPT44	C.TSP44
45	D112.NAME9		CH2LAMP_IS10	START.CODE	NPT45	C.TSP45
46	D112.NAME10		CH2LAMP_IS11	CH1START.SP	NPT46	C.TSP46
47	D112.NAME11		CH2LAMP_IS12	CH2START.SP	NPT47	C.TSP47
48	D112.NAME12		CH2LAMP_IS13		NPT48	C.TSP48
49	D113.NAME1		CH2LAMP_IS14		NPT49	C.TSP49

D-Reg.	DI CONFIG3	INITIAL1	INITIAL2	PROGRAM	PATTERN INFO	FILE1
	1800	1900	2000	2100	2200	2300
50	DI13.NAME2		CH2LAMP_IS15	PT.RPT	NPT50	C.TSP50
51	DI13.NAME3		CH2LAMP_IS16	PT.EMOD	NPT51	C.TSP51
52	DI13.NAME4		CH2LAMP_TS1	CH1LINK.PT	NPT52	C.TSP52
53	DI13.NAME5		CH2LAMP_TS2	CH2LINK.PT	NPT53	C.TSP53
54	DI13.NAME6		CH2LAMP_TS3		NPT54	C.TSP54
55	DI13.NAME7		CH2LAMP_TS4		NPT55	C.TSP55
56	DI13.NAME8		CH2LAMP_TS5	SEG_RPT.S1	NPT56	C.TSP56
57	DI13.NAME9		CH2LAMP_TS6	SEG_RPT.E1	NPT57	C.TSP57
58	DI13.NAME10		CH2LAMP_TS7	SEG_RPT.C1	NPT58	C.TSP58
59	DI13.NAME11		CH2LAMP_TS8	SEG_RPT.S2	NPT59	C.TSP59
60	DI13.NAME12		CH2LAMP_AL5	SEG_RPT.E2	NPT60	C.TSP60
61	DI14.NAME1		CH2LAMP_AL6	SEG_RPT.C2	NPT61	C.TSP61
62	DI14.NAME2		CH2LAMP_AL7	SEG_RPT.S3	NPT62	C.TSP62
63	DI14.NAME3		CH2LAMP_AL8	SEG_RPT.E3	NPT63	C.TSP63
64	DI14.NAME4		CH2LAMP_SAL1	SEG_RPT.C3	NPT64	C.TSP64
65	DI14.NAME5		CH2LAMP_SAL2	SEG_RPT.S4	NPT65	C.TSP65
66	DI14.NAME6		CH2LAMP_SAL3	SEG_RPT.E4	NPT66	C.TSP66
67	DI14.NAME7		CH2LAMP_SAL4	SEG_RPT.C4	NPT67	C.TSP67
68	DI14.NAME8		CH2LAMP_T8		NPT68	C.TSP68
69	DI14.NAME9		CH2LAMP_T9		NPT69	C.TSP69
70	DI14.NAME10		CH2LAMP_T10		NPT70	C.TSP70
71	DI14.NAME11		CH2LAMP_T11		NPT71	C.TSP71
72	DI14.NAME12		CH2LAMP_T12		NPT72	C.TSP72
73	DI15.NAME1		CH2LAMP_T13		NPT73	C.TSP73
74	DI15.NAME2		CH2LAMP_T14		NPT74	C.TSP74
75	DI15.NAME3		CH2LAMP_RUN		NPT75	C.TSP75
76	DI15.NAME4		CH2LAMP_1REF		NPT76	C.TSP76
77	DI15.NAME5		CH2LAMP_2REF		NPT77	C.TSP77
78	DI15.NAME6		CH2LAMP_SD		NPT78	C.TSP78
79	DI15.NAME7		CH2LAMP_DI9		NPT79	C.TSP79
80	DI15.NAME8		CH2LAMP_DI10		NPT80	C.TSP80
81	DI15.NAME9		CH2LAMP_DI11			C.TSP81
82	DI15.NAME10		CH2LAMP_DI12			C.TSP82
83	DI15.NAME11		CH2LAMP_DI13			C.TSP83
84	DI15.NAME12		CH2LAMP_DI14			C.TSP84
85	DI16.NAME1		CH2LAMP_DI15			C.TSP85
86	DI16.NAME2		CH2LAMP_DI16			C.TSP86
87	DI16.NAME3					C.TSP87
88	DI16.NAME4					C.TSP88
89	DI16.NAME5					C.TSP89
90	DI16.NAME6					C.TSP90
91	DI16.NAME7					C.TSP91
92	DI16.NAME8					C.TSP92
93	DI16.NAME9					C.TSP93
94	DI16.NAME10					C.TSP94
95	DI16.NAME11					C.TSP95
96	DI16.NAME12					C.TSP96
97						C.TSP97
98						C.TSP98
99						C.TSP99

D-Register 2400 ~ 2999

D-Reg.	FILE2	FILE3	FILE4	FILE5	FILE6	FILE7
	2400	2500	2600	2700	2800	2900
0						
1		C.SRTIME_H1	C.SRTIME_L1	C.TS1_1	C.TS2_1	C.TS3_1
2		C.SRTIME_H2	C.SRTIME_L2	C.TS1_2	C.TS2_2	C.TS3_2
3		C.SRTIME_H3	C.SRTIME_L3	C.TS1_3	C.TS2_3	C.TS3_3
4		C.SRTIME_H4	C.SRTIME_L4	C.TS1_4	C.TS2_4	C.TS3_4
5		C.SRTIME_H5	C.SRTIME_L5	C.TS1_5	C.TS2_5	C.TS3_5
6		C.SRTIME_H6	C.SRTIME_L6	C.TS1_6	C.TS2_6	C.TS3_6
7		C.SRTIME_H7	C.SRTIME_L7	C.TS1_7	C.TS2_7	C.TS3_7
8		C.SRTIME_H8	C.SRTIME_L8	C.TS1_8	C.TS2_8	C.TS3_8
9		C.SRTIME_H9	C.SRTIME_L9	C.TS1_9	C.TS2_9	C.TS3_9
10		C.SRTIME_H10	C.SRTIME_L10	C.TS1_10	C.TS2_10	C.TS3_10
11		C.SRTIME_H11	C.SRTIME_L11	C.TS1_11	C.TS2_11	C.TS3_11
12		C.SRTIME_H12	C.SRTIME_L12	C.TS1_12	C.TS2_12	C.TS3_12
13		C.SRTIME_H13	C.SRTIME_L13	C.TS1_13	C.TS2_13	C.TS3_13
14		C.SRTIME_H14	C.SRTIME_L14	C.TS1_14	C.TS2_14	C.TS3_14
15		C.SRTIME_H15	C.SRTIME_L15	C.TS1_15	C.TS2_15	C.TS3_15
16		C.SRTIME_H16	C.SRTIME_L16	C.TS1_16	C.TS2_16	C.TS3_16
17		C.SRTIME_H17	C.SRTIME_L17	C.TS1_17	C.TS2_17	C.TS3_17
18		C.SRTIME_H18	C.SRTIME_L18	C.TS1_18	C.TS2_18	C.TS3_18
19		C.SRTIME_H19	C.SRTIME_L19	C.TS1_19	C.TS2_19	C.TS3_19
20		C.SRTIME_H20	C.SRTIME_L20	C.TS1_20	C.TS2_20	C.TS3_20
21		C.SRTIME_H21	C.SRTIME_L21	C.TS1_21	C.TS2_21	C.TS3_21
22		C.SRTIME_H22	C.SRTIME_L22	C.TS1_22	C.TS2_22	C.TS3_22
23		C.SRTIME_H23	C.SRTIME_L23	C.TS1_23	C.TS2_23	C.TS3_23
24		C.SRTIME_H24	C.SRTIME_L24	C.TS1_24	C.TS2_24	C.TS3_24
25		C.SRTIME_H25	C.SRTIME_L25	C.TS1_25	C.TS2_25	C.TS3_25
26		C.SRTIME_H26	C.SRTIME_L26	C.TS1_26	C.TS2_26	C.TS3_26
27		C.SRTIME_H27	C.SRTIME_L27	C.TS1_27	C.TS2_27	C.TS3_27
28		C.SRTIME_H28	C.SRTIME_L28	C.TS1_28	C.TS2_28	C.TS3_28
29		C.SRTIME_H29	C.SRTIME_L29	C.TS1_29	C.TS2_29	C.TS3_29
30		C.SRTIME_H30	C.SRTIME_L30	C.TS1_30	C.TS2_30	C.TS3_30
31		C.SRTIME_H31	C.SRTIME_L31	C.TS1_31	C.TS2_31	C.TS3_31
32		C.SRTIME_H32	C.SRTIME_L32	C.TS1_32	C.TS2_32	C.TS3_32
33		C.SRTIME_H33	C.SRTIME_L33	C.TS1_33	C.TS2_33	C.TS3_33
34		C.SRTIME_H34	C.SRTIME_L34	C.TS1_34	C.TS2_34	C.TS3_34
35		C.SRTIME_H35	C.SRTIME_L35	C.TS1_35	C.TS2_35	C.TS3_35
36		C.SRTIME_H36	C.SRTIME_L36	C.TS1_36	C.TS2_36	C.TS3_36
37		C.SRTIME_H37	C.SRTIME_L37	C.TS1_37	C.TS2_37	C.TS3_37
38		C.SRTIME_H38	C.SRTIME_L38	C.TS1_38	C.TS2_38	C.TS3_38
39		C.SRTIME_H39	C.SRTIME_L39	C.TS1_39	C.TS2_39	C.TS3_39
40		C.SRTIME_H40	C.SRTIME_L40	C.TS1_40	C.TS2_40	C.TS3_40
41		C.SRTIME_H41	C.SRTIME_L41	C.TS1_41	C.TS2_41	C.TS3_41
42		C.SRTIME_H42	C.SRTIME_L42	C.TS1_42	C.TS2_42	C.TS3_42
43		C.SRTIME_H43	C.SRTIME_L43	C.TS1_43	C.TS2_43	C.TS3_43
44		C.SRTIME_H44	C.SRTIME_L44	C.TS1_44	C.TS2_44	C.TS3_44
45		C.SRTIME_H45	C.SRTIME_L45	C.TS1_45	C.TS2_45	C.TS3_45
46		C.SRTIME_H46	C.SRTIME_L46	C.TS1_46	C.TS2_46	C.TS3_46
47		C.SRTIME_H47	C.SRTIME_L47	C.TS1_47	C.TS2_47	C.TS3_47
48		C.SRTIME_H48	C.SRTIME_L48	C.TS1_48	C.TS2_48	C.TS3_48
49		C.SRTIME_H49	C.SRTIME_L49	C.TS1_49	C.TS2_49	C.TS3_49

D-Reg.	FILE2	FILE3	FILE4	FILE5	FILE6	FILE7
	2400	2500	2600	2700	2800	2900
50		C.SRTIME_H50	C.SRTIME_L50	C.TS1_50	C.TS2_50	C.TS3_50
51		C.SRTIME_H51	C.SRTIME_L51	C.TS1_51	C.TS2_51	C.TS3_51
52		C.SRTIME_H52	C.SRTIME_L52	C.TS1_52	C.TS2_52	C.TS3_52
53		C.SRTIME_H53	C.SRTIME_L53	C.TS1_53	C.TS2_53	C.TS3_53
54		C.SRTIME_H54	C.SRTIME_L54	C.TS1_54	C.TS2_54	C.TS3_54
55		C.SRTIME_H55	C.SRTIME_L55	C.TS1_55	C.TS2_55	C.TS3_55
56		C.SRTIME_H56	C.SRTIME_L56	C.TS1_56	C.TS2_56	C.TS3_56
57		C.SRTIME_H57	C.SRTIME_L57	C.TS1_57	C.TS2_57	C.TS3_57
58		C.SRTIME_H58	C.SRTIME_L58	C.TS1_58	C.TS2_58	C.TS3_58
59		C.SRTIME_H59	C.SRTIME_L59	C.TS1_59	C.TS2_59	C.TS3_59
60		C.SRTIME_H60	C.SRTIME_L60	C.TS1_60	C.TS2_60	C.TS3_60
61		C.SRTIME_H61	C.SRTIME_L61	C.TS1_61	C.TS2_61	C.TS3_61
62		C.SRTIME_H62	C.SRTIME_L62	C.TS1_62	C.TS2_62	C.TS3_62
63		C.SRTIME_H63	C.SRTIME_L63	C.TS1_63	C.TS2_63	C.TS3_63
64		C.SRTIME_H64	C.SRTIME_L64	C.TS1_64	C.TS2_64	C.TS3_64
65		C.SRTIME_H65	C.SRTIME_L65	C.TS1_65	C.TS2_65	C.TS3_65
66		C.SRTIME_H66	C.SRTIME_L66	C.TS1_66	C.TS2_66	C.TS3_66
67		C.SRTIME_H67	C.SRTIME_L67	C.TS1_67	C.TS2_67	C.TS3_67
68		C.SRTIME_H68	C.SRTIME_L68	C.TS1_68	C.TS2_68	C.TS3_68
69		C.SRTIME_H69	C.SRTIME_L69	C.TS1_69	C.TS2_69	C.TS3_69
70		C.SRTIME_H70	C.SRTIME_L70	C.TS1_70	C.TS2_70	C.TS3_70
71		C.SRTIME_H71	C.SRTIME_L71	C.TS1_71	C.TS2_71	C.TS3_71
72		C.SRTIME_H72	C.SRTIME_L72	C.TS1_72	C.TS2_72	C.TS3_72
73		C.SRTIME_H73	C.SRTIME_L73	C.TS1_73	C.TS2_73	C.TS3_73
74		C.SRTIME_H74	C.SRTIME_L74	C.TS1_74	C.TS2_74	C.TS3_74
75		C.SRTIME_H75	C.SRTIME_L75	C.TS1_75	C.TS2_75	C.TS3_75
76		C.SRTIME_H76	C.SRTIME_L76	C.TS1_76	C.TS2_76	C.TS3_76
77		C.SRTIME_H77	C.SRTIME_L77	C.TS1_77	C.TS2_77	C.TS3_77
78		C.SRTIME_H78	C.SRTIME_L78	C.TS1_78	C.TS2_78	C.TS3_78
79		C.SRTIME_H79	C.SRTIME_L79	C.TS1_79	C.TS2_79	C.TS3_79
80		C.SRTIME_H80	C.SRTIME_L80	C.TS1_80	C.TS2_80	C.TS3_80
81		C.SRTIME_H81	C.SRTIME_L81	C.TS1_81	C.TS2_81	C.TS3_81
82		C.SRTIME_H82	C.SRTIME_L82	C.TS1_82	C.TS2_82	C.TS3_82
83		C.SRTIME_H83	C.SRTIME_L83	C.TS1_83	C.TS2_83	C.TS3_83
84		C.SRTIME_H84	C.SRTIME_L84	C.TS1_84	C.TS2_84	C.TS3_84
85		C.SRTIME_H85	C.SRTIME_L85	C.TS1_85	C.TS2_85	C.TS3_85
86		C.SRTIME_H86	C.SRTIME_L86	C.TS1_86	C.TS2_86	C.TS3_86
87		C.SRTIME_H87	C.SRTIME_L87	C.TS1_87	C.TS2_87	C.TS3_87
88		C.SRTIME_H88	C.SRTIME_L88	C.TS1_88	C.TS2_88	C.TS3_88
89		C.SRTIME_H89	C.SRTIME_L89	C.TS1_89	C.TS2_89	C.TS3_89
90		C.SRTIME_H90	C.SRTIME_L90	C.TS1_90	C.TS2_90	C.TS3_90
91		C.SRTIME_H91	C.SRTIME_L91	C.TS1_91	C.TS2_91	C.TS3_91
92		C.SRTIME_H92	C.SRTIME_L92	C.TS1_92	C.TS2_92	C.TS3_92
93		C.SRTIME_H93	C.SRTIME_L93	C.TS1_93	C.TS2_93	C.TS3_93
94		C.SRTIME_H94	C.SRTIME_L94	C.TS1_94	C.TS2_94	C.TS3_94
95		C.SRTIME_H95	C.SRTIME_L95	C.TS1_95	C.TS2_95	C.TS3_95
96		C.SRTIME_H96	C.SRTIME_L96	C.TS1_96	C.TS2_96	C.TS3_96
97		C.SRTIME_H97	C.SRTIME_L97	C.TS1_97	C.TS2_97	C.TS3_97
98		C.SRTIME_H98	C.SRTIME_L98	C.TS1_98	C.TS2_98	C.TS3_98
99		C.SRTIME_H99	C.SRTIME_L99	C.TS1_99	C.TS2_99	C.TS3_99

D-Register 3000 ~ 3599

D-Reg.	FILE8	FILE9	FILE10	FILE11	FILE12	FILE13
	3000	3100	3200	3300	3400	3500
0						
1	C.TS4_1	C.TS5_1	C.TS6_1	C.TS7_1	C.TS8_1	C.SEGAL_1_1
2	C.TS4_2	C.TS5_2	C.TS6_2	C.TS7_2	C.TS8_2	C.SEGAL_1_2
3	C.TS4_3	C.TS5_3	C.TS6_3	C.TS7_3	C.TS8_3	C.SEGAL_1_3
4	C.TS4_4	C.TS5_4	C.TS6_4	C.TS7_4	C.TS8_4	C.SEGAL_1_4
5	C.TS4_5	C.TS5_5	C.TS6_5	C.TS7_5	C.TS8_5	C.SEGAL_1_5
6	C.TS4_6	C.TS5_6	C.TS6_6	C.TS7_6	C.TS8_6	C.SEGAL_1_6
7	C.TS4_7	C.TS5_7	C.TS6_7	C.TS7_7	C.TS8_7	C.SEGAL_1_7
8	C.TS4_8	C.TS5_8	C.TS6_8	C.TS7_8	C.TS8_8	C.SEGAL_1_8
9	C.TS4_9	C.TS5_9	C.TS6_9	C.TS7_9	C.TS8_9	C.SEGAL_1_9
10	C.TS4_10	C.TS5_10	C.TS6_10	C.TS7_10	C.TS8_10	C.SEGAL_1_10
11	C.TS4_11	C.TS5_11	C.TS6_11	C.TS7_11	C.TS8_11	C.SEGAL_1_11
12	C.TS4_12	C.TS5_12	C.TS6_12	C.TS7_12	C.TS8_12	C.SEGAL_1_12
13	C.TS4_13	C.TS5_13	C.TS6_13	C.TS7_13	C.TS8_13	C.SEGAL_1_13
14	C.TS4_14	C.TS5_14	C.TS6_14	C.TS7_14	C.TS8_14	C.SEGAL_1_14
15	C.TS4_15	C.TS5_15	C.TS6_15	C.TS7_15	C.TS8_15	C.SEGAL_1_15
16	C.TS4_16	C.TS5_16	C.TS6_16	C.TS7_16	C.TS8_16	C.SEGAL_1_16
17	C.TS4_17	C.TS5_17	C.TS6_17	C.TS7_17	C.TS8_17	C.SEGAL_1_17
18	C.TS4_18	C.TS5_18	C.TS6_18	C.TS7_18	C.TS8_18	C.SEGAL_1_18
19	C.TS4_19	C.TS5_19	C.TS6_19	C.TS7_19	C.TS8_19	C.SEGAL_1_19
20	C.TS4_20	C.TS5_20	C.TS6_20	C.TS7_20	C.TS8_20	C.SEGAL_1_20
21	C.TS4_21	C.TS5_21	C.TS6_21	C.TS7_21	C.TS8_21	C.SEGAL_1_21
22	C.TS4_22	C.TS5_22	C.TS6_22	C.TS7_22	C.TS8_22	C.SEGAL_1_22
23	C.TS4_23	C.TS5_23	C.TS6_23	C.TS7_23	C.TS8_23	C.SEGAL_1_23
24	C.TS4_24	C.TS5_24	C.TS6_24	C.TS7_24	C.TS8_24	C.SEGAL_1_24
25	C.TS4_25	C.TS5_25	C.TS6_25	C.TS7_25	C.TS8_25	C.SEGAL_1_25
26	C.TS4_26	C.TS5_26	C.TS6_26	C.TS7_26	C.TS8_26	C.SEGAL_1_26
27	C.TS4_27	C.TS5_27	C.TS6_27	C.TS7_27	C.TS8_27	C.SEGAL_1_27
28	C.TS4_28	C.TS5_28	C.TS6_28	C.TS7_28	C.TS8_28	C.SEGAL_1_28
29	C.TS4_29	C.TS5_29	C.TS6_29	C.TS7_29	C.TS8_29	C.SEGAL_1_29
30	C.TS4_30	C.TS5_30	C.TS6_30	C.TS7_30	C.TS8_30	C.SEGAL_1_30
31	C.TS4_31	C.TS5_31	C.TS6_31	C.TS7_31	C.TS8_31	C.SEGAL_1_31
32	C.TS4_32	C.TS5_32	C.TS6_32	C.TS7_32	C.TS8_32	C.SEGAL_1_32
33	C.TS4_33	C.TS5_33	C.TS6_33	C.TS7_33	C.TS8_33	C.SEGAL_1_33
34	C.TS4_34	C.TS5_34	C.TS6_34	C.TS7_34	C.TS8_34	C.SEGAL_1_34
35	C.TS4_35	C.TS5_35	C.TS6_35	C.TS7_35	C.TS8_35	C.SEGAL_1_35
36	C.TS4_36	C.TS5_36	C.TS6_36	C.TS7_36	C.TS8_36	C.SEGAL_1_36
37	C.TS4_37	C.TS5_37	C.TS6_37	C.TS7_37	C.TS8_37	C.SEGAL_1_37
38	C.TS4_38	C.TS5_38	C.TS6_38	C.TS7_38	C.TS8_38	C.SEGAL_1_38
39	C.TS4_39	C.TS5_39	C.TS6_39	C.TS7_39	C.TS8_39	C.SEGAL_1_39
40	C.TS4_40	C.TS5_40	C.TS6_40	C.TS7_40	C.TS8_40	C.SEGAL_1_40
41	C.TS4_41	C.TS5_41	C.TS6_41	C.TS7_41	C.TS8_41	C.SEGAL_1_41
42	C.TS4_42	C.TS5_42	C.TS6_42	C.TS7_42	C.TS8_42	C.SEGAL_1_42
43	C.TS4_43	C.TS5_43	C.TS6_43	C.TS7_43	C.TS8_43	C.SEGAL_1_43
44	C.TS4_44	C.TS5_44	C.TS6_44	C.TS7_44	C.TS8_44	C.SEGAL_1_44
45	C.TS4_45	C.TS5_45	C.TS6_45	C.TS7_45	C.TS8_45	C.SEGAL_1_45
46	C.TS4_46	C.TS5_46	C.TS6_46	C.TS7_46	C.TS8_46	C.SEGAL_1_46
47	C.TS4_47	C.TS5_47	C.TS6_47	C.TS7_47	C.TS8_47	C.SEGAL_1_47
48	C.TS4_48	C.TS5_48	C.TS6_48	C.TS7_48	C.TS8_48	C.SEGAL_1_48
49	C.TS4_49	C.TS5_49	C.TS6_49	C.TS7_49	C.TS8_49	C.SEGAL_1_49

D-Reg.	FILE8	FILE9	FILE10	FILE11	FILE12	FILE13
	3000	3100	3200	3300	3400	3500
50	C.TS4_50	C.TS5_50	C.TS6_50	C.TS7_50	C.TS8_50	C.SEGAL_1_50
51	C.TS4_51	C.TS5_51	C.TS6_51	C.TS7_51	C.TS8_51	C.SEGAL_1_51
52	C.TS4_52	C.TS5_52	C.TS6_52	C.TS7_52	C.TS8_52	C.SEGAL_1_52
53	C.TS4_53	C.TS5_53	C.TS6_53	C.TS7_53	C.TS8_53	C.SEGAL_1_53
54	C.TS4_54	C.TS5_54	C.TS6_54	C.TS7_54	C.TS8_54	C.SEGAL_1_54
55	C.TS4_55	C.TS5_55	C.TS6_55	C.TS7_55	C.TS8_55	C.SEGAL_1_55
56	C.TS4_56	C.TS5_56	C.TS6_56	C.TS7_56	C.TS8_56	C.SEGAL_1_56
57	C.TS4_57	C.TS5_57	C.TS6_57	C.TS7_57	C.TS8_57	C.SEGAL_1_57
58	C.TS4_58	C.TS5_58	C.TS6_58	C.TS7_58	C.TS8_58	C.SEGAL_1_58
59	C.TS4_59	C.TS5_59	C.TS6_59	C.TS7_59	C.TS8_59	C.SEGAL_1_59
60	C.TS4_60	C.TS5_60	C.TS6_60	C.TS7_60	C.TS8_60	C.SEGAL_1_60
61	C.TS4_61	C.TS5_61	C.TS6_61	C.TS7_61	C.TS8_61	C.SEGAL_1_61
62	C.TS4_62	C.TS5_62	C.TS6_62	C.TS7_62	C.TS8_62	C.SEGAL_1_62
63	C.TS4_63	C.TS5_63	C.TS6_63	C.TS7_63	C.TS8_63	C.SEGAL_1_63
64	C.TS4_64	C.TS5_64	C.TS6_64	C.TS7_64	C.TS8_64	C.SEGAL_1_64
65	C.TS4_65	C.TS5_65	C.TS6_65	C.TS7_65	C.TS8_65	C.SEGAL_1_65
66	C.TS4_66	C.TS5_66	C.TS6_66	C.TS7_66	C.TS8_66	C.SEGAL_1_66
67	C.TS4_67	C.TS5_67	C.TS6_67	C.TS7_67	C.TS8_67	C.SEGAL_1_67
68	C.TS4_68	C.TS5_68	C.TS6_68	C.TS7_68	C.TS8_68	C.SEGAL_1_68
69	C.TS4_69	C.TS5_69	C.TS6_69	C.TS7_69	C.TS8_69	C.SEGAL_1_69
70	C.TS4_70	C.TS5_70	C.TS6_70	C.TS7_70	C.TS8_70	C.SEGAL_1_70
71	C.TS4_71	C.TS5_71	C.TS6_71	C.TS7_71	C.TS8_71	C.SEGAL_1_71
72	C.TS4_72	C.TS5_72	C.TS6_72	C.TS7_72	C.TS8_72	C.SEGAL_1_72
73	C.TS4_73	C.TS5_73	C.TS6_73	C.TS7_73	C.TS8_73	C.SEGAL_1_73
74	C.TS4_74	C.TS5_74	C.TS6_74	C.TS7_74	C.TS8_74	C.SEGAL_1_74
75	C.TS4_75	C.TS5_75	C.TS6_75	C.TS7_75	C.TS8_75	C.SEGAL_1_75
76	C.TS4_76	C.TS5_76	C.TS6_76	C.TS7_76	C.TS8_76	C.SEGAL_1_76
77	C.TS4_77	C.TS5_77	C.TS6_77	C.TS7_77	C.TS8_77	C.SEGAL_1_77
78	C.TS4_78	C.TS5_78	C.TS6_78	C.TS7_78	C.TS8_78	C.SEGAL_1_78
79	C.TS4_79	C.TS5_79	C.TS6_79	C.TS7_79	C.TS8_79	C.SEGAL_1_79
80	C.TS4_80	C.TS5_80	C.TS6_80	C.TS7_80	C.TS8_80	C.SEGAL_1_80
81	C.TS4_81	C.TS5_81	C.TS6_81	C.TS7_81	C.TS8_81	C.SEGAL_1_81
82	C.TS4_82	C.TS5_82	C.TS6_82	C.TS7_82	C.TS8_82	C.SEGAL_1_82
83	C.TS4_83	C.TS5_83	C.TS6_83	C.TS7_83	C.TS8_83	C.SEGAL_1_83
84	C.TS4_84	C.TS5_84	C.TS6_84	C.TS7_84	C.TS8_84	C.SEGAL_1_84
85	C.TS4_85	C.TS5_85	C.TS6_85	C.TS7_85	C.TS8_85	C.SEGAL_1_85
86	C.TS4_86	C.TS5_86	C.TS6_86	C.TS7_86	C.TS8_86	C.SEGAL_1_86
87	C.TS4_87	C.TS5_87	C.TS6_87	C.TS7_87	C.TS8_87	C.SEGAL_1_87
88	C.TS4_88	C.TS5_88	C.TS6_88	C.TS7_88	C.TS8_88	C.SEGAL_1_88
89	C.TS4_89	C.TS5_89	C.TS6_89	C.TS7_89	C.TS8_89	C.SEGAL_1_89
90	C.TS4_90	C.TS5_90	C.TS6_90	C.TS7_90	C.TS8_90	C.SEGAL_1_90
91	C.TS4_91	C.TS5_91	C.TS6_91	C.TS7_91	C.TS8_91	C.SEGAL_1_91
92	C.TS4_92	C.TS5_92	C.TS6_92	C.TS7_92	C.TS8_92	C.SEGAL_1_92
93	C.TS4_93	C.TS5_93	C.TS6_93	C.TS7_93	C.TS8_93	C.SEGAL_1_93
94	C.TS4_94	C.TS5_94	C.TS6_94	C.TS7_94	C.TS8_94	C.SEGAL_1_94
95	C.TS4_95	C.TS5_95	C.TS6_95	C.TS7_95	C.TS8_95	C.SEGAL_1_95
96	C.TS4_96	C.TS5_96	C.TS6_96	C.TS7_96	C.TS8_96	C.SEGAL_1_96
97	C.TS4_97	C.TS5_97	C.TS6_97	C.TS7_97	C.TS8_97	C.SEGAL_1_97
98	C.TS4_98	C.TS5_98	C.TS6_98	C.TS7_98	C.TS8_98	C.SEGAL_1_98
99	C.TS4_99	C.TS5_99	C.TS6_99	C.TS7_99	C.TS8_99	C.SEGAL_1_99

D-Register 3600 ~ 4199

D-Reg.	FILE14	FILE15	FILE16	FILE17	RESERVED	RESERVED
	3600	3700	3800	3900	4000	4100
0						
1	C.SEGAL2_1	C.SEGAL3_1	C.SEGAL4_1	C.SEGPID_1		
2	C.SEGAL2_2	C.SEGAL3_2	C.SEGAL4_2	C.SEGPID_2		
3	C.SEGAL2_3	C.SEGAL3_3	C.SEGAL4_3	C.SEGPID_3		
4	C.SEGAL2_4	C.SEGAL3_4	C.SEGAL4_4	C.SEGPID_4		
5	C.SEGAL2_5	C.SEGAL3_5	C.SEGAL4_5	C.SEGPID_5		
6	C.SEGAL2_6	C.SEGAL3_6	C.SEGAL4_6	C.SEGPID_6		
7	C.SEGAL2_7	C.SEGAL3_7	C.SEGAL4_7	C.SEGPID_7		
8	C.SEGAL2_8	C.SEGAL3_8	C.SEGAL4_8	C.SEGPID_8		
9	C.SEGAL2_9	C.SEGAL3_9	C.SEGAL4_9	C.SEGPID_9		
10	C.SEGAL2_10	C.SEGAL3_10	C.SEGAL4_10	C.SEGPID_10		
11	C.SEGAL2_11	C.SEGAL3_11	C.SEGAL4_11	C.SEGPID_11		
12	C.SEGAL2_12	C.SEGAL3_12	C.SEGAL4_12	C.SEGPID_12		
13	C.SEGAL2_13	C.SEGAL3_13	C.SEGAL4_13	C.SEGPID_13		
14	C.SEGAL2_14	C.SEGAL3_14	C.SEGAL4_14	C.SEGPID_14		
15	C.SEGAL2_15	C.SEGAL3_15	C.SEGAL4_15	C.SEGPID_15		
16	C.SEGAL2_16	C.SEGAL3_16	C.SEGAL4_16	C.SEGPID_16		
17	C.SEGAL2_17	C.SEGAL3_17	C.SEGAL4_17	C.SEGPID_17		
18	C.SEGAL2_18	C.SEGAL3_18	C.SEGAL4_18	C.SEGPID_18		
19	C.SEGAL2_19	C.SEGAL3_19	C.SEGAL4_19	C.SEGPID_19		
20	C.SEGAL2_20	C.SEGAL3_20	C.SEGAL4_20	C.SEGPID_20		
21	C.SEGAL2_21	C.SEGAL3_21	C.SEGAL4_21	C.SEGPID_21		
22	C.SEGAL2_22	C.SEGAL3_22	C.SEGAL4_22	C.SEGPID_22		
23	C.SEGAL2_23	C.SEGAL3_23	C.SEGAL4_23	C.SEGPID_23		
24	C.SEGAL2_24	C.SEGAL3_24	C.SEGAL4_24	C.SEGPID_24		
25	C.SEGAL2_25	C.SEGAL3_25	C.SEGAL4_25	C.SEGPID_25		
26	C.SEGAL2_26	C.SEGAL3_26	C.SEGAL4_26	C.SEGPID_26		
27	C.SEGAL2_27	C.SEGAL3_27	C.SEGAL4_27	C.SEGPID_27		
28	C.SEGAL2_28	C.SEGAL3_28	C.SEGAL4_28	C.SEGPID_28		
29	C.SEGAL2_29	C.SEGAL3_29	C.SEGAL4_29	C.SEGPID_29		
30	C.SEGAL2_30	C.SEGAL3_30	C.SEGAL4_30	C.SEGPID_30		
31	C.SEGAL2_31	C.SEGAL3_31	C.SEGAL4_31	C.SEGPID_31		
32	C.SEGAL2_32	C.SEGAL3_32	C.SEGAL4_32	C.SEGPID_32		
33	C.SEGAL2_33	C.SEGAL3_33	C.SEGAL4_33	C.SEGPID_33		
34	C.SEGAL2_34	C.SEGAL3_34	C.SEGAL4_34	C.SEGPID_34		
35	C.SEGAL2_35	C.SEGAL3_35	C.SEGAL4_35	C.SEGPID_35		
36	C.SEGAL2_36	C.SEGAL3_36	C.SEGAL4_36	C.SEGPID_36		
37	C.SEGAL2_37	C.SEGAL3_37	C.SEGAL4_37	C.SEGPID_37		
38	C.SEGAL2_38	C.SEGAL3_38	C.SEGAL4_38	C.SEGPID_38		
39	C.SEGAL2_39	C.SEGAL3_39	C.SEGAL4_39	C.SEGPID_39		
40	C.SEGAL2_40	C.SEGAL3_40	C.SEGAL4_40	C.SEGPID_40		
41	C.SEGAL2_41	C.SEGAL3_41	C.SEGAL4_41	C.SEGPID_41		
42	C.SEGAL2_42	C.SEGAL3_42	C.SEGAL4_42	C.SEGPID_42		
43	C.SEGAL2_43	C.SEGAL3_43	C.SEGAL4_43	C.SEGPID_43		
44	C.SEGAL2_44	C.SEGAL3_44	C.SEGAL4_44	C.SEGPID_44		
45	C.SEGAL2_45	C.SEGAL3_45	C.SEGAL4_45	C.SEGPID_45		
46	C.SEGAL2_46	C.SEGAL3_46	C.SEGAL4_46	C.SEGPID_46		
47	C.SEGAL2_47	C.SEGAL3_47	C.SEGAL4_47	C.SEGPID_47		
48	C.SEGAL2_48	C.SEGAL3_48	C.SEGAL4_48	C.SEGPID_48		
49	C.SEGAL2_49	C.SEGAL3_49	C.SEGAL4_49	C.SEGPID_49		

D-Reg.	FILE14	FILE15	FILE16	FILE17	RESERVED	RESERVED
	3600	3700	3800	3900	4000	4100
50	C.SEGAL2_50	C.SEGAL3_50	C.SEGAL4_50	C.SEGPID_50		
51	C.SEGAL2_51	C.SEGAL3_51	C.SEGAL4_51	C.SEGPID_51		
52	C.SEGAL2_52	C.SEGAL3_52	C.SEGAL4_52	C.SEGPID_52		
53	C.SEGAL2_53	C.SEGAL3_53	C.SEGAL4_53	C.SEGPID_53		
54	C.SEGAL2_54	C.SEGAL3_54	C.SEGAL4_54	C.SEGPID_54		
55	C.SEGAL2_55	C.SEGAL3_55	C.SEGAL4_55	C.SEGPID_55		
56	C.SEGAL2_56	C.SEGAL3_56	C.SEGAL4_56	C.SEGPID_56		
57	C.SEGAL2_57	C.SEGAL3_57	C.SEGAL4_57	C.SEGPID_57		
58	C.SEGAL2_58	C.SEGAL3_58	C.SEGAL4_58	C.SEGPID_58		
59	C.SEGAL2_59	C.SEGAL3_59	C.SEGAL4_59	C.SEGPID_59		
60	C.SEGAL2_60	C.SEGAL3_60	C.SEGAL4_60	C.SEGPID_60		
61	C.SEGAL2_61	C.SEGAL3_61	C.SEGAL4_61	C.SEGPID_61		
62	C.SEGAL2_62	C.SEGAL3_62	C.SEGAL4_62	C.SEGPID_62		
63	C.SEGAL2_63	C.SEGAL3_63	C.SEGAL4_63	C.SEGPID_63		
64	C.SEGAL2_64	C.SEGAL3_64	C.SEGAL4_64	C.SEGPID_64		
65	C.SEGAL2_65	C.SEGAL3_65	C.SEGAL4_65	C.SEGPID_65		
66	C.SEGAL2_66	C.SEGAL3_66	C.SEGAL4_66	C.SEGPID_66		
67	C.SEGAL2_67	C.SEGAL3_67	C.SEGAL4_67	C.SEGPID_67		
68	C.SEGAL2_68	C.SEGAL3_68	C.SEGAL4_68	C.SEGPID_68		
69	C.SEGAL2_69	C.SEGAL3_69	C.SEGAL4_69	C.SEGPID_69		
70	C.SEGAL2_70	C.SEGAL3_70	C.SEGAL4_70	C.SEGPID_70		
71	C.SEGAL2_71	C.SEGAL3_71	C.SEGAL4_71	C.SEGPID_71		
72	C.SEGAL2_72	C.SEGAL3_72	C.SEGAL4_72	C.SEGPID_72		
73	C.SEGAL2_73	C.SEGAL3_73	C.SEGAL4_73	C.SEGPID_73		
74	C.SEGAL2_74	C.SEGAL3_74	C.SEGAL4_74	C.SEGPID_74		
75	C.SEGAL2_75	C.SEGAL3_75	C.SEGAL4_75	C.SEGPID_75		
76	C.SEGAL2_76	C.SEGAL3_76	C.SEGAL4_76	C.SEGPID_76		
77	C.SEGAL2_77	C.SEGAL3_77	C.SEGAL4_77	C.SEGPID_77		
78	C.SEGAL2_78	C.SEGAL3_78	C.SEGAL4_78	C.SEGPID_78		
79	C.SEGAL2_79	C.SEGAL3_79	C.SEGAL4_79	C.SEGPID_79		
80	C.SEGAL2_80	C.SEGAL3_80	C.SEGAL4_80	C.SEGPID_80		
81	C.SEGAL2_81	C.SEGAL3_81	C.SEGAL4_81	C.SEGPID_81		
82	C.SEGAL2_82	C.SEGAL3_82	C.SEGAL4_82	C.SEGPID_82		
83	C.SEGAL2_83	C.SEGAL3_83	C.SEGAL4_83	C.SEGPID_83		
84	C.SEGAL2_84	C.SEGAL3_84	C.SEGAL4_84	C.SEGPID_84		
85	C.SEGAL2_85	C.SEGAL3_85	C.SEGAL4_85	C.SEGPID_85		
86	C.SEGAL2_86	C.SEGAL3_86	C.SEGAL4_86	C.SEGPID_86		
87	C.SEGAL2_87	C.SEGAL3_87	C.SEGAL4_87	C.SEGPID_87		
88	C.SEGAL2_88	C.SEGAL3_88	C.SEGAL4_88	C.SEGPID_88		
89	C.SEGAL2_89	C.SEGAL3_89	C.SEGAL4_89	C.SEGPID_89		
90	C.SEGAL2_90	C.SEGAL3_90	C.SEGAL4_90	C.SEGPID_90		
91	C.SEGAL2_91	C.SEGAL3_91	C.SEGAL4_91	C.SEGPID_91		
92	C.SEGAL2_92	C.SEGAL3_92	C.SEGAL4_92	C.SEGPID_92		
93	C.SEGAL2_93	C.SEGAL3_93	C.SEGAL4_93	C.SEGPID_93		
94	C.SEGAL2_94	C.SEGAL3_94	C.SEGAL4_94	C.SEGPID_94		
95	C.SEGAL2_95	C.SEGAL3_95	C.SEGAL4_95	C.SEGPID_95		
96	C.SEGAL2_96	C.SEGAL3_96	C.SEGAL4_96	C.SEGPID_96		
97	C.SEGAL2_97	C.SEGAL3_97	C.SEGAL4_97	C.SEGPID_97		
98	C.SEGAL2_98	C.SEGAL3_98	C.SEGAL4_98	C.SEGPID_98		
99	C.SEGAL2_99	C.SEGAL3_99	C.SEGAL4_99	C.SEGPID_99		



株式会社サムウォンテック
SAMWONTECH CO.,LTD.
京畿道 富川市 遠美區 若大洞 192番地
富川テクノパーク 202棟 703号
TEL : 032-326-9120
FAX : 032-326-9119
<http://www.samwontech.com>
E-mail:webmaster@samwontech.com

製品に関するお問い合わせおよび技術相談は弊社営業部にてお受けしております。